使用説明書 システム設定編

IPSiO Color 6500/6000

1. Windows 2000プリントサーバーを準備する

2. Windows XPプリントサーバーを準備する

3. Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する

4. NetWareサーバーを準備する

5. Ridoc IO Adminを使う

6. Webブラウザを使う

7. 機器の監視と設定の変更

8. 操作パネルを使用する

9. 付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書＜保守編＞『安全上のご注意』をお読みください。

商標

- Ethernet**は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。**
- Macintosh**は、米国**Apple Computer, Inc.**の各国での登録商標です。**
- HP-GL、HP-GL/2、HPRTL**は、米国**Hewlett-Packard**社の商標です。**
- IBM、DOS/V**は、米国**International Business Machines Corporation**の登録商標です。**
- Microsoft、Windows、Windows NT**は、米国**Microsoft Corporation**の米国およびその他の国における登録商標です。**
- NEC**は、日本電気株式会社の登録商標です。**
- PC98-NX**シリーズ、**PC-9800**シリーズは、日本電気株式会社の製品です。**
- NetWare**は、米国**Novell, Inc.**の登録商標です。**
- PostScript**は、**Adobe Systems Incorporated（**アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。**
- UNIX**は、**X/Open**カンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。**
- **その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。**

* Windows® 95**の製品名は、**Microsoft® Windows® 95**です。**
* Windows® 98**の製品名は、**Microsoft® Windows® 98**です。**
* Windows® Me**の製品名は、**Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）**です。**
* Windows® 2000**の製品名は以下のとおりです**
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server

* Windows XPの製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

環境を確認する

本機をご使用になる環境を確認します。

Windows 2000
Windows XP
Windows NT
（サーバー）

NetWare
（サーバー）

Windows 95/98/Me

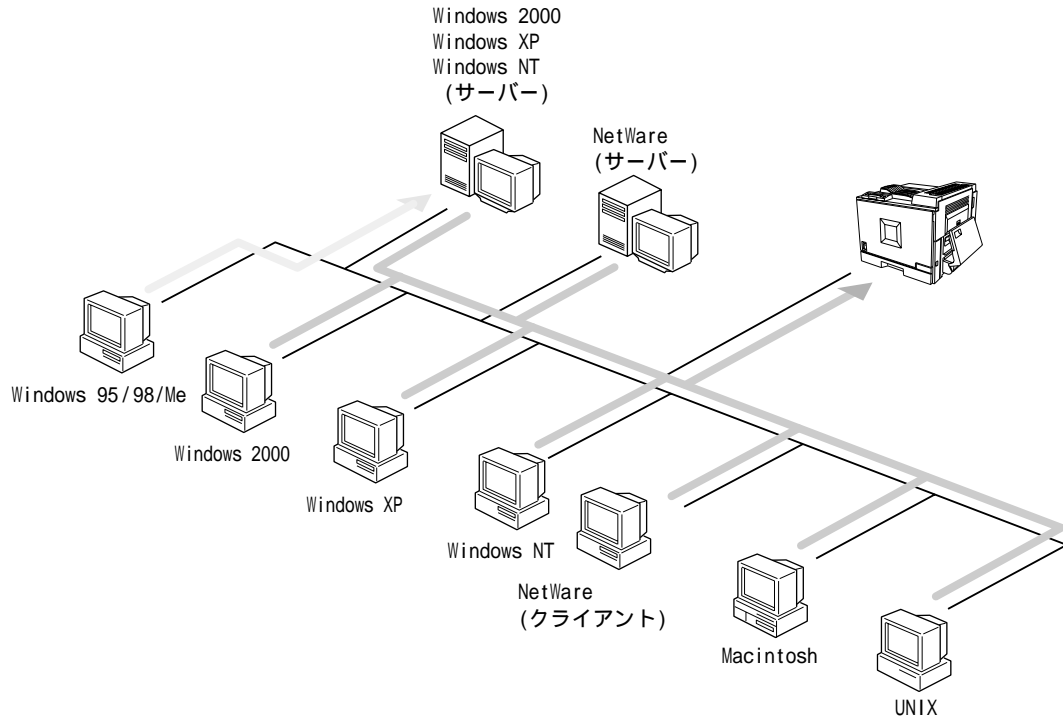
Windows 2000

Windows XP

Windows NT

NetWare
（クライアント）

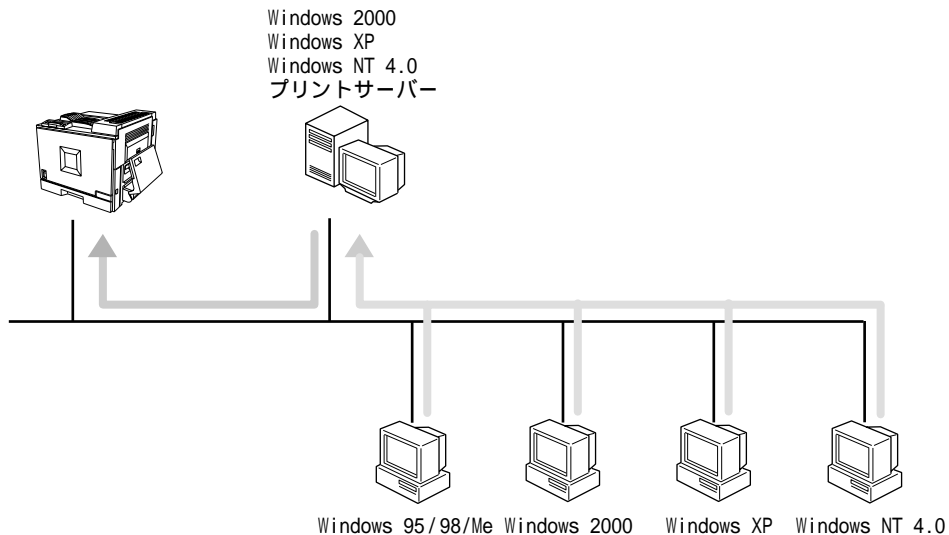
Macintosh

UNIX

❖ **プリンターとコンピューターの接続方法**

- **ネットワーク接続（イーサネットケーブル）**
- **パラレル接続（パラレルケーブル）**

プリントサーバーを準備する

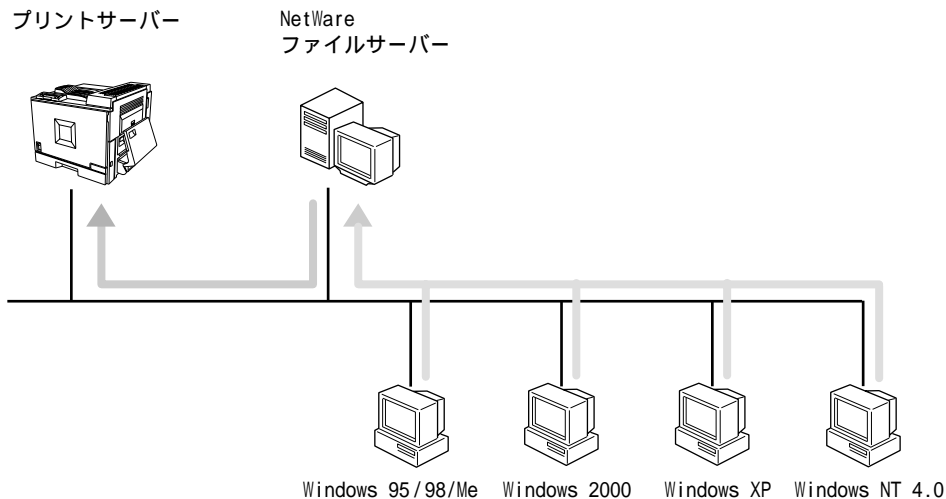
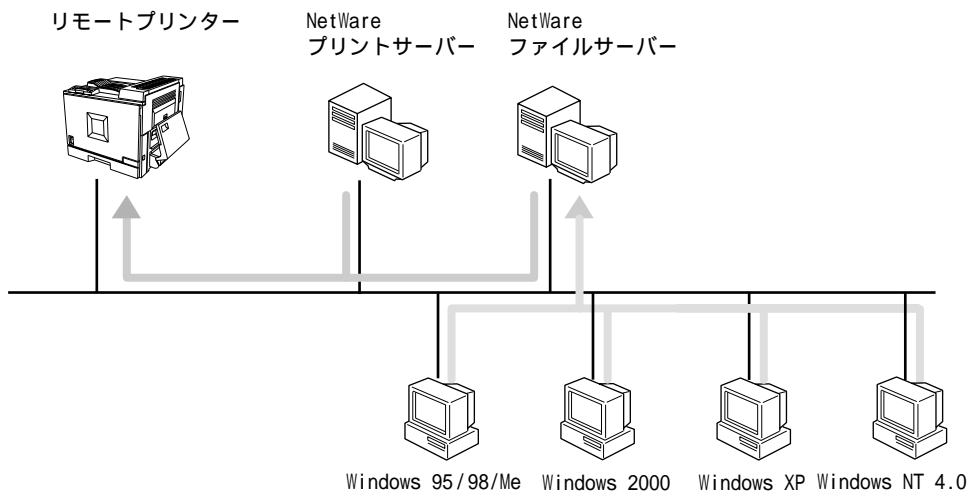
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。

- Windows 2000 ⇒ P.10 「Windows 2000プリントサーバーを準備する」
- Windows XP ⇒ P.33 「Windows XPプリントサーバーを準備する」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.53 「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」

NetWare サーバーを準備する

❖ NetWareサーバーを使う

NetWare 3.xJ、NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jをプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。
本機をプリントサーバーとして使う形態とリモートプリンターとして使う形態の2種類があります。

❖ プリントサーバーとして使う場合

❖ リモートプリンターとして使う場合

⇒ P.76 「NetWareサーバーを準備する」

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.218 「DHCPを使用する場合」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] − [アクセサリ] をポイントし、[コマンドプロンプト] をクリックします。

② 次のように入力して確認します。(IPアドレスが192.168.15.16の場合)

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

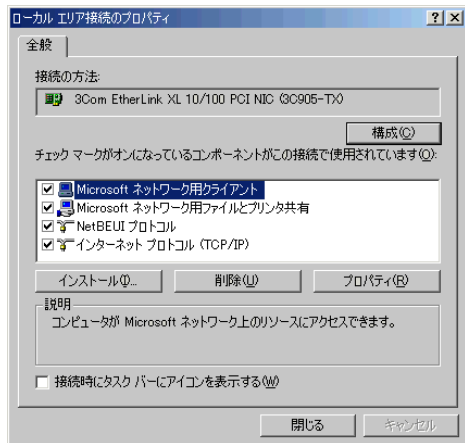
```
Request timed out.
```

❖ **Windows 2000の環境設定**

Windows 2000に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。

② [ローカルエリア接続] を選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

④ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

⑤ LPR を使って印刷する場合は、「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれている必要があります。
「UNIX用印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

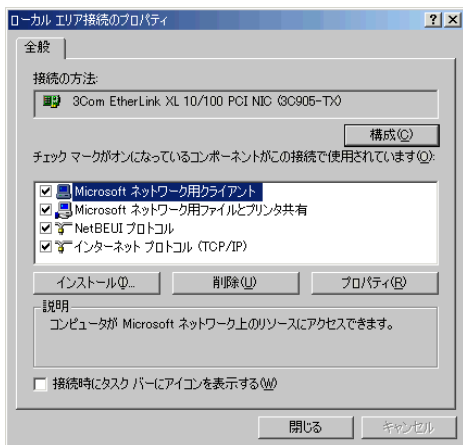
設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

❖ Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「NetBEUIプロトコル」を組み込みます。

① [コントロールパネル]の[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックします。

② [ローカルエリア接続]を選択して、[ファイル]メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ NetBEUIプロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ]の[インストール]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

4 **[製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。**

5 **表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。**

プリンタードライバーのインストール

1 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

 補足

- ❒ **システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。**

2 **セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。**

3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

4 ［コンポーネントの選択］ダイアログでプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

5 ［プリンタ名］の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、［'プリンタ名'の設定の変更］ボックスで変更します。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

 補足

- ［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、NetBEUI アドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ [OK]をクリックします。

❖ IPP

① [IPP]をクリックします。
[IPP の設定]ダイアログが表示されます。

② [プリンタのURL]に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://(プリンターのIPアドレス)/printer」のように入力します。

③ **必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。**
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ **プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**

補足

❒ **設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。**

⑤ **［OK］をクリックします。**
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

❶ **「Standard TCP/IP Port」を選択し、［OK］をクリックします。**

補足

❒ **「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows 2000のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。**

❷ **「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、［次へ］をクリックします。**

❸ ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

補足

- ❒ ［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、［完了］をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

❶「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。

補足

- ❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

❷ ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

❸ ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

ポートが追加されます。

9 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 ［共有］をダブルクリックし、共有の設定を展開します。

11 プリンターを共有する場合は、［共有］の左のボックスをクリックして✓印を付けます。

12 ［共有名］の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。

補足

- 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（［Windows NT 4.0/2000］、［Windows 95/98］は、あらかじめ選択されています）。
- 後で追加することもできます。P.31 「共有設定」を参照してください。

13 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

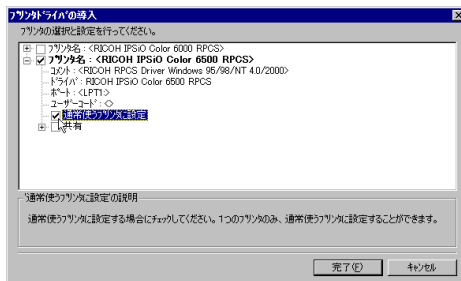
補足

- 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

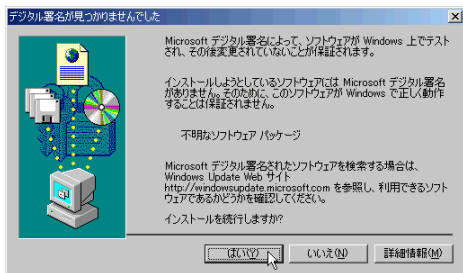
補足

- ユーザーコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

14 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.29「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

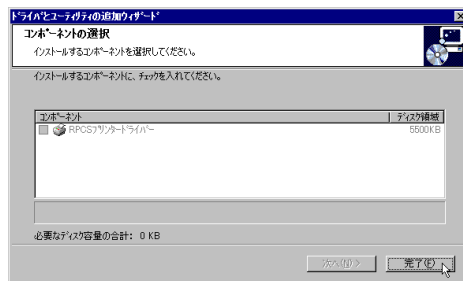
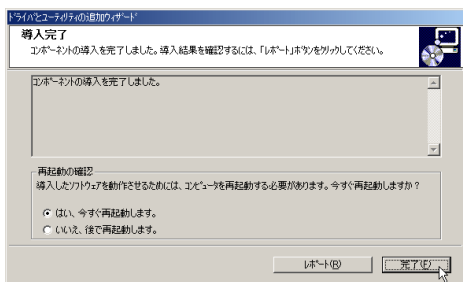
15 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

16 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

17 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.29「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.27「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

- ❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 ［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

2 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。

② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。

④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPPの場合、IPPユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

補足

❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

オプションを設定する

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators またはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順**4**の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。

補足

- ❒ [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- ❒ [初期設定] タブをクリックして [オプ ション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順5の画面が表示され ます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加]でインストールし直してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。

② [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは[キャンセル]をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている （Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPの場合）
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000/XPの場合）

補足

- ❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている （Windows 2000/XPの場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている （Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

- ❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

クライアントからプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

制限

- ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 **［共有］タブをクリックし、［共有する］に✓印を付けます。**

4 **プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバ］をクリックします。**

補足

- ❒ **インストールの際に共有をチェック（✓印を付ける）して代替ドライバーをインストールした場合は、これは必要ありません。**

5 **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、使用説明書<取り扱い編>を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.218「DHCPを使用する場合」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows XP上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］-［アクセサリ］の順にポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

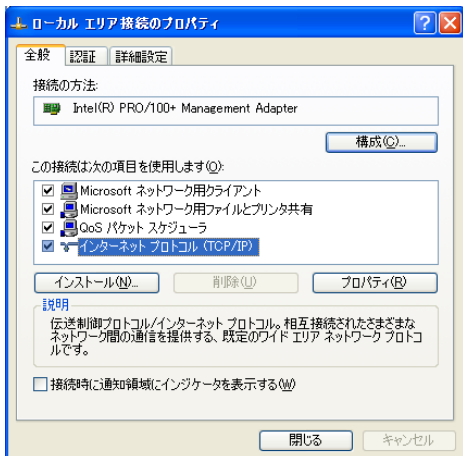
Windows XP の環境設定

Windows XPに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IP のプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとインターネット接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ネットワーク接続］をクリックします。

3 [ローカルエリア接続]を選択して、[この接続の設定を変更する］をクリックします。

4 [この接続は次の項目を使用します］ボックスに、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。

補足

- ❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows XPのヘルプを参照してください。

5 TCP/IPプロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

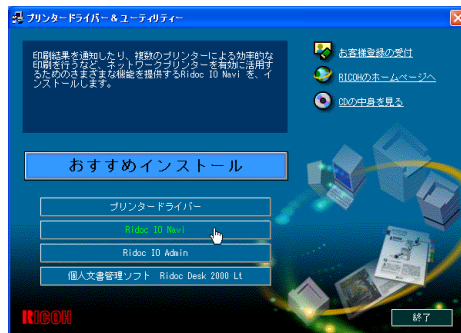
Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

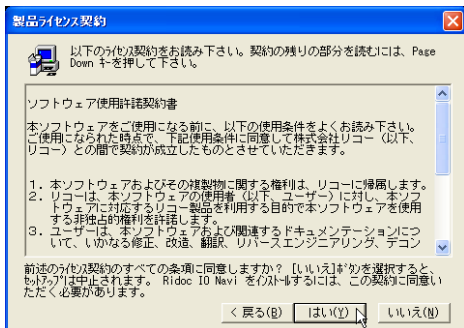
インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

補足

- ❒ インストール終了後に「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 ［プリンタ名］の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、［'プリンタ名'の設定の変更］ボックスで変更します。

6 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ ［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ ［OK］をクリックします。

❖ IPP

① ［IPP］をクリックします。
［IPP の設定］ダイアログが表示されます。

② ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

補足

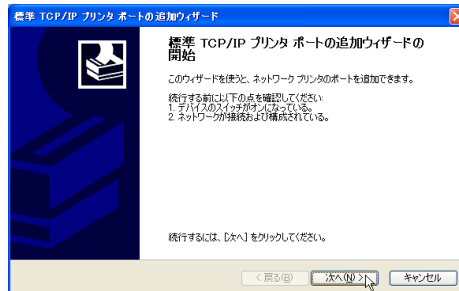
❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

❶ 「Standard TCP/IP Port」を選択し、［OK］をクリックします。

 補足

❒ 「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows XPのヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。

❷ 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、［次へ］をクリックします。

❸ ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

補足

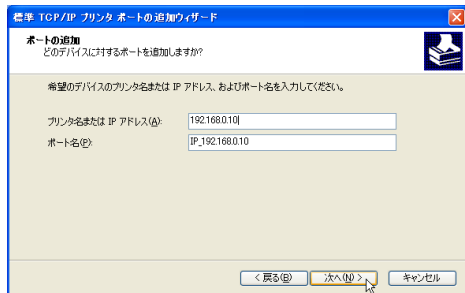
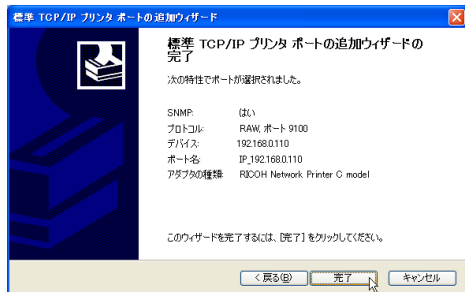
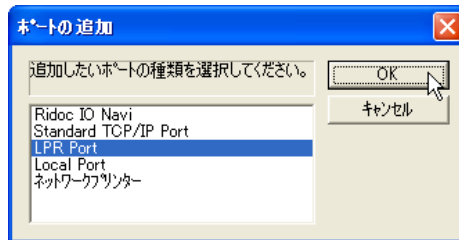
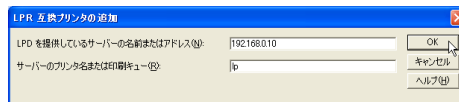
❒ ［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹ 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、［完了］をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

❶ 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。

補足

❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX 印刷サービス」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XPのヘルプを参照してください。

❷ ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

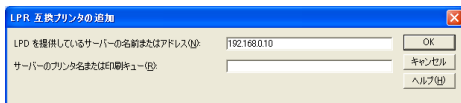
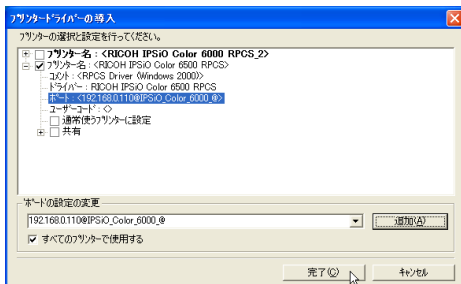
ポートが追加されます。

9 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。

11 プリンターを共有する場合は、[共有] の左のボックスをクリックして✓印を付けます。

12 ［共有名］の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。

補足

- ❒ 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（［Windows NT 4.0/2000］、［Windows 95/98］は、あらかじめ選択されています）。
- ❒ 後で追加することもできます。P.51 「共有設定」を参照してください。

13 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

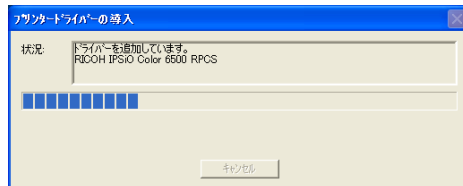
❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

14 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中でメッセージが表示されることがあります。その場合は[続行]をクリックしてインストールを続行してください。
- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.49「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

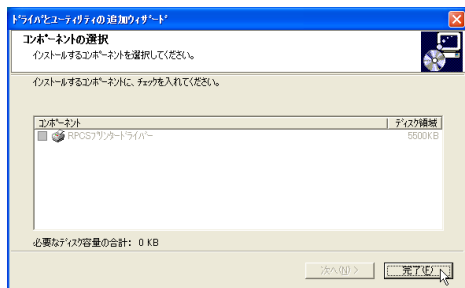
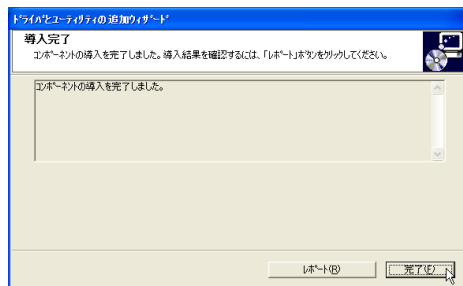
15 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了]をクリックします。

16 [導入完了]ダイアログが表示されたら、[完了]をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

17 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.50「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.48「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

❒ [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。

② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。

④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。

❒ **各設定項目の詳細は、**Ridoc IO Navi**のヘルプを参照してください。**

- IPP **の場合、**IPP **ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。**

補足

❒ **詳細は、**Ridoc IO Navi**のヘルプを参照してください。**

オプションを設定する

制限

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [スタート] ボタンから、[プリンタとFAX] ウィンドウを表示させます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

- この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。

補足

- [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 ［給紙トレイ設定］で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、［トレイ用紙サイズ］・［トレイ用紙セット方向］・［トレイ用紙種類］を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］に✓印を付けます。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ ［初期設定］タブをクリックして［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］をクリックすると、手順5の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPの場合）
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000/XPの場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XPの場合）
- Microsoft TCP/IP印刷IPアドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

クライアントからプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

制限

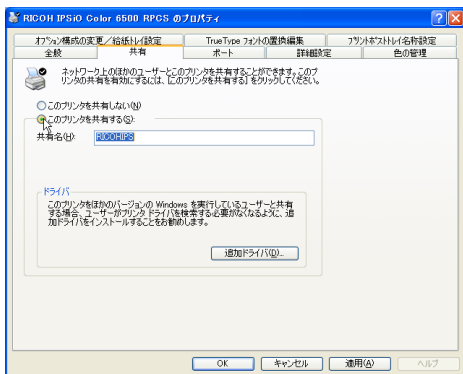
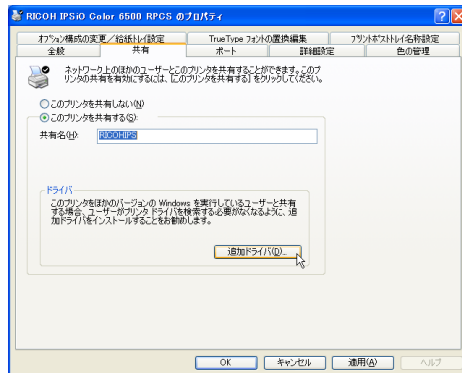
❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators またはPowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］ウィンドウを表示させます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 [共有]タブをクリックし、[このプリンタを共有する]をクリックします。

4 プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、[追加ドライバ]をクリックします。

 補足

- ❒ インストールの際に共有をチェック(✓印を付ける)して代替ドライバーをインストールした場合は、これは必要ありません。

5 [OK]をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**
TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.218「DHCPを使用する場合」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]をポイントし、[コマンドプロンプト]をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

❖ **Windows NTの環境設定**
Windows NTに「TCP/IPプロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」ソフトウェアを組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

② ［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

補足

- ❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows　NTのヘルプを参照してください。

③ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

④ LPRを使って印刷する場合は、［サービス］タブをクリックし、ネットワークサービスとして「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていることを確認します。

「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていないときは、［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUI プロトコルを使って印刷できるように、プリンターの NetBEUI プロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

❖ Windows NTの環境設定

Windows NTに「NetBEUIプロトコル」を組み込み、LANアダプタ(LANA)番号を変更します。

① [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックます。

② [プロトコル] タブの [ネットワークプロトコル] ボックスに「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、[プロトコル] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

③ LANA番号を変更します。［サービス］タブをクリックし、［ネットワークサービス］ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。

④ ［ネットワークルート］見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、［編集］をクリックします。

⑤ LANA番号として「0」を入力します。

補足

❒ 他のプロトコルの LANA 番号が 0 に設定されているときは、そのプロトコルを 0 以外に変更してください。

⑥ ［OK］をクリックします。

⑦ ［閉じる］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

⑧ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

補足

❒ LANA 番号を変更したときは必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

 補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

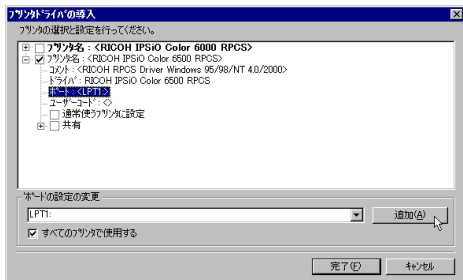
4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（チェックマークを付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPP の設定] ダイアログが表示されます。

② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://(プリンターのIPアドレス)/printer」のように入力します。

③ **必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。**
入力を省略すると、［プリンタのURL］に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

④ **プロキシサーバーやIPPユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし､必要な項目を設定し､［OK］をクリックします。**

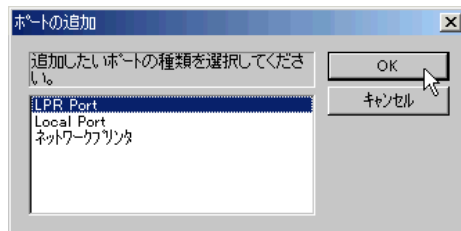
補足

❒ **設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。**

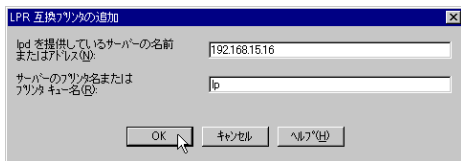
⑤ **［OK］をクリックします。**
ポートの追加ダイアログが閉じます。

LPR Port

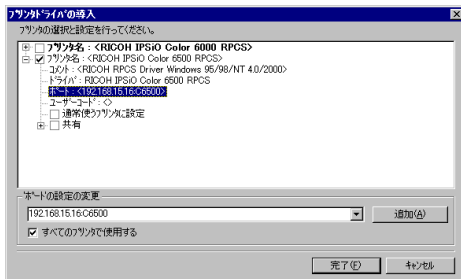
❶ **「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。**

補足

❒ **「LPR Port」が表示されない場合は､「Microsoft TCP/IP印刷」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。**

❷ **［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。**

❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

9 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。

11 プリンターを共有する場合は、[共有] の左のボックスをクリックし、チェックマークを付けます。

12 ［共有名］の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。

補足

- ❒ 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（［Windows NT 4.0/2000］、［Windows 95/98］は、あらかじめ選択されています）。
- ❒ 後で追加することもできます。P.74 「共有設定」を参照してください。

13 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

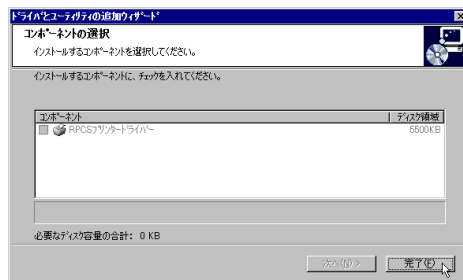
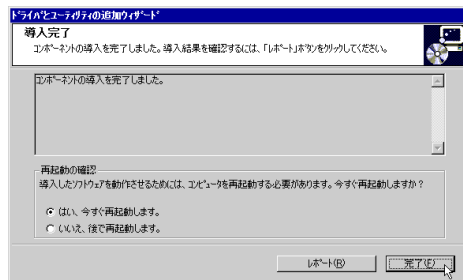
14 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.72「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
- 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

15 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

16 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

補足

❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

17 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.72「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.70「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

- ❒ [代行印刷/並行印刷]タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
  ① [キャンセル]をクリックして、[ポートの設定]ダイアログを閉じます。
  ② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。
  ③ [拡張機能設定]をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する]にチェックをつけます。
  ④ [OK]をクリックし、[拡張機能設定]ダイアログを閉じます。

- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPPの場合、IPPユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

補足

- ❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

オプションを設定する

制限

- ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。

補足

❒ [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] をチェックします。

7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプ ション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順5の画面が表示され ます。

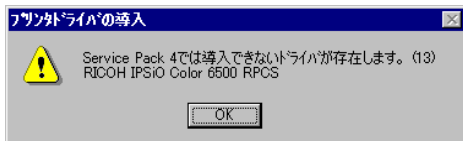
プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。

プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WINNT40¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPの場合）
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000/XPの場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XPの場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IPアドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

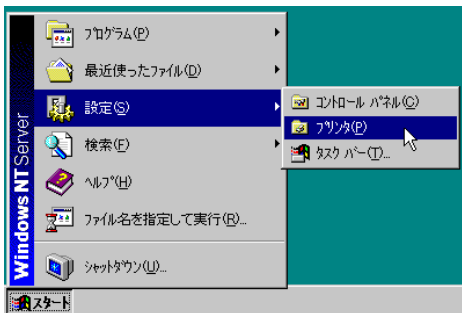
クライアントがプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

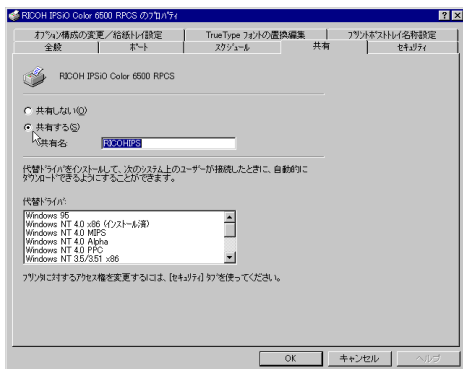
参照

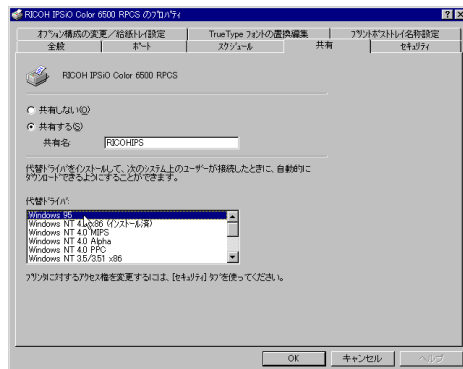
印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 [共有] タブをクリックし、[共有する] に✓印を付けます。

4 プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、代替ドライバをクリックして選択します。

補足

❒ インストールの際に共有をチェック（✓印を付ける）して代替ドライバーをインストールした場合は、選択する必要はありません。

5 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

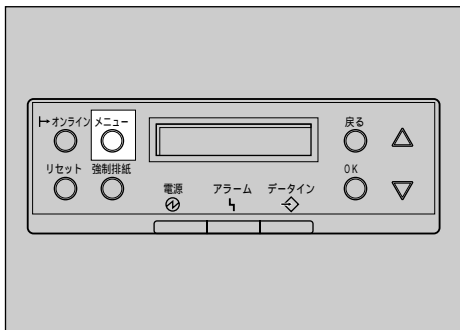
NetWareでネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。NetWareではプリンターを「プリントサーバー」または「リモートプリンター」として接続することができます。

プロトコルの準備をする

プリンターの操作パネルでNetWareの設定をします。

補足

- コンピューター側に IPX/SPX プロトコルが組み込まれている必要があります。組み込まれていない場合は、Windowsのヘルプを参照してIPX/SPXプロトコルを組み込んでください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

3 使用するプロトコルを有効にします。

❶【▲】または【▼】キーを押して「3.ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ
```

❷【▲】または【▼】キーを押して「6.ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
6.ユウコウプロトコル
```

❸【▲】または【▼】キーを押して「2.NetWare」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ユウコウプロトコル>
2.NetWare
```

❹【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NetWare  >
*ユウコウ
```

約2秒後有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

❺プロトコルの設定が終了したら【戻る】キーを押します。

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

- ❒ 工場出荷時は全てのプロトコルが有効に設定されています。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。
- ❒ NetWare5.1JのピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを有効に設定してください。

4 NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNET2
- ETHERNETSNAP

補足

- ❒「自動選択」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

❶【▲】または【▼】キーを押して「5.NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
5.NWフレームタイプ
```

現在の設定が表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ>
*ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ
```

約2秒後ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

5 設定が終了したら【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

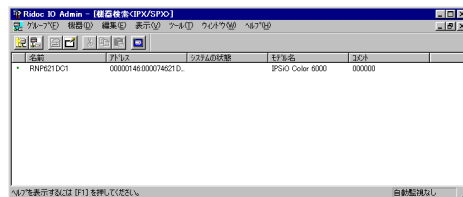
6 システム設定リストを印刷して設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

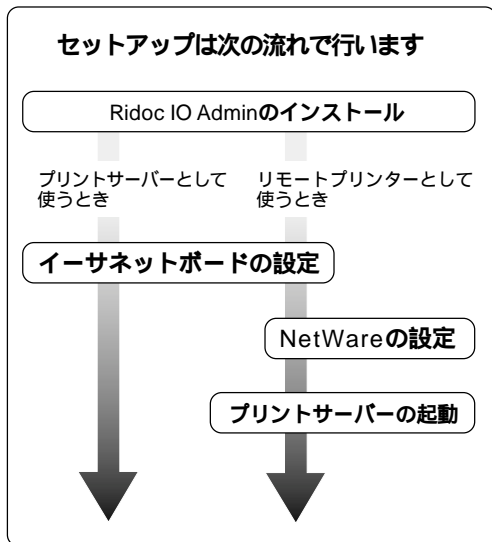
❖ Ridoc IO Adminについて
プリンターをNetWare環境で使用するには、Ridoc IO Adminを使用してNetWareのプリント環境を設定します。

補足

❒ 下記の環境でRidoc IO Adminを使用してプリント環境を設定するときは、Novellから提供されている NetWare クライアントがインストールされている必要があります。
- Windows 95/98/Meで、NDSモードのとき
- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でNDSモードまたはBindaryモードのとき

❖ Ridoc IO Adminに表示されるプリンターについて
Ridoc IO Adminには、ネットワークに接続されているプリンターの一覧が表示されます。

表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

NetWare 3.xJ でのセットアップ

NetWareのプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここではNetWare 3.xJにおいて、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。

補足

- ❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - プリントサーバーの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。Ridoc IO Adminのインストール手順については、P.107「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合は、P.80「プリントサーバーとして使う」に進んでください。

リモートプリンターとして使う場合は、P.83「リモートプリンターとして使う」に進んでください。

プリントサーバーとして使う

1 Supervisor または同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューの［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］を選択します。

設定できるプリンターの一覧が表示されます。

補足

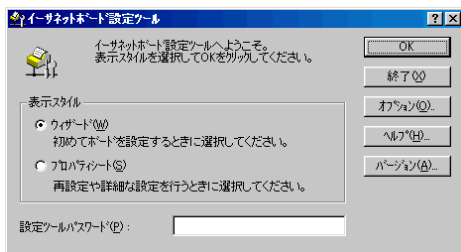
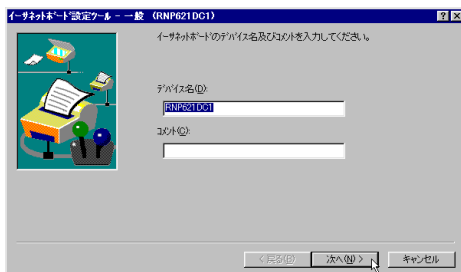
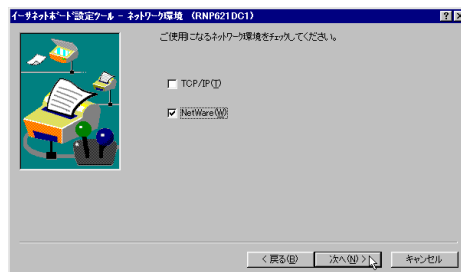
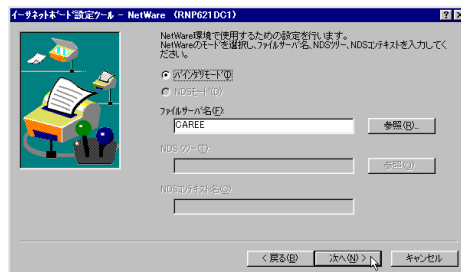
- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

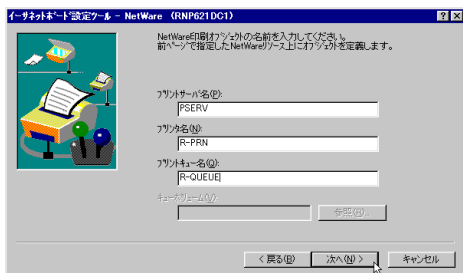
制限

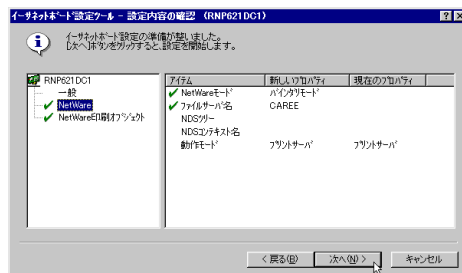
- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Admin はリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

6 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。

7 ［NetWare］に✓印を付け、［次へ］をクリックします。

8 ［バインダリモード］をクリックして選択し、［ファイルサーバ名］を入力し、［次へ］をクリックします。

- ［ファイルサーバ名］には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例ではCAREE）を入力します。［参照］をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。

9 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名] を入力し、[次へ] をクリックします。

- **[プリントサーバ名] には、**NetWare**のプリントサーバー名（この例では、**PSERV**）を英数字で**47**バイト以内で入力します。**
- **[プリンタ名] には、**NetWare **のプリンター名（この例では、**R-PRN**）を入力します。**
- **[プリントキュー名] には、**NetWare**上に追加するプリントキューの名前（この例の場合**R-QUEUE**）を入力します。**

10 設定を確認し、[次へ] をクリックします。

設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 Ridoc IO Admin**を終了します。**

補足

- ❒ **プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。**

```
F:> USERLIST
```

- ❒ **正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバー名（この例では**PSERV**）が表示されます。**

リモートプリンターとして使う

1 Supervisor または同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。

設定できるプリンターの一覧が表示されます。

補足

- 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

- メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

［イーサネットボード設定ツール］ダイアログが表示されます。

6 ［NetWare］タブをクリックします。

7 環境を設定します。

❶ ［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

 補足

❒ 47バイト以内で入力してください、

❷ ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ [動作モード] グループの [リモートプリンタ] をクリックして選択します。

❹ [リモートプリンタ番号] ボックスにプリンター番号を入力します。

重要

❒ プリントサーバー上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❺ [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

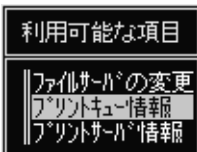
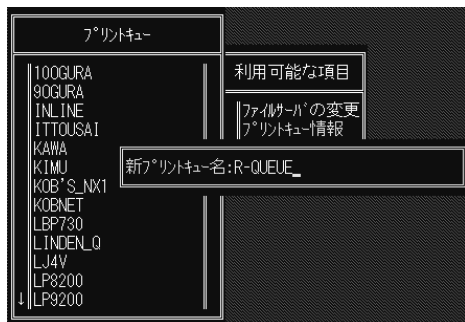
9 コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。

```
F:> PCONSOLE
```

10 プリントキューを作成します。

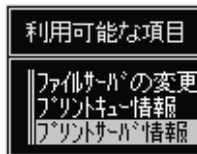
補足

- 既存のプリントキューを使う場合は、手順11に進みます。

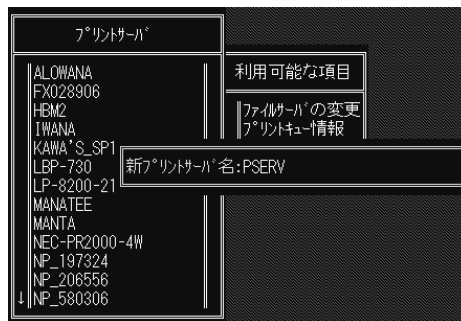
❶ ［利用可能な項目］メニューから［プリントキュー情報］を選択します。

❷ Insertキーを押し、プリントキュー名を入力します。

❸ Escキーを押します。

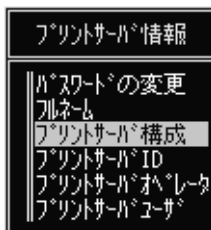
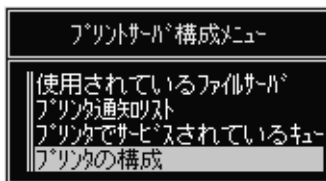
［利用可能な項目］メニューに戻ります。

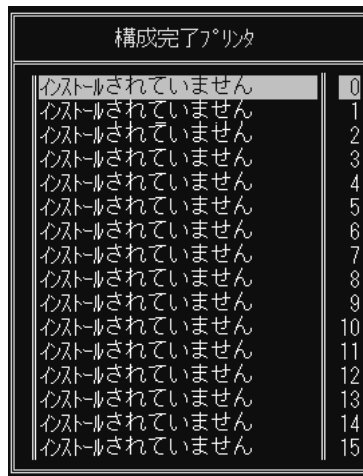
11 プリンターを作成します。

❶ ［利用可能な項目］メニューから［プリントサーバ情報］を選択します。

❷ 新しいプリントサーバーを作成する場合は、Insertキーを押し、プリントサーバー名を入力します。

既存のプリントサーバーを使う場合は、［プリントサーバ］一覧から使用するプリントサーバーを選択します。

重要

- Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名（手順）と一致させてください。

❸ ［プリントサーバ情報］メニューから［プリントサーバ構成］を選択します。

❹ ［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタの構成］を選択します。

❺ 「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。

重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリンター番号（手順❼-❹）と一致させてください。

❻ **プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。**

名前は選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ×」と付けられています。

ﾌﾟﾘﾝﾀ 1 の構成

名前: R-PRN
ﾀｲﾌﾟ: 定義済み

社別識別子:
IRQ:
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ):

開始用紙:
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ:

ﾎﾞｰﾚｰﾄ:
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ:
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ:
ﾊﾟﾘﾃｨ:
X-On/X-Off使用有無:

❼ **タイプとして［リモートパラレル，LPT1］を選択します。**

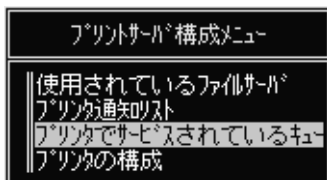
IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。

❽ **Escキーを押し、確認画面で［Yes］を選択します。**

❾ **Escキーを押します。**

［プリントサーバ構成メニュー］に戻ります。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

❶ [プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタでサービスされているキュー] を選択します。

❷ 手順11で作成したプリンターを選択します。

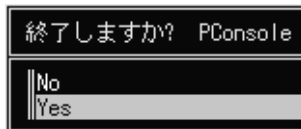
❸ Insertキーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。

補足

❒ 複数のキューを選択することもできます。

❹ 画面表示に従って、その他の項目を入力します。

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

13 「終了しますか？」と表示されるまでEscキーを押し、［Yes］を選択します。

PCONSOLEが終了します。

14 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

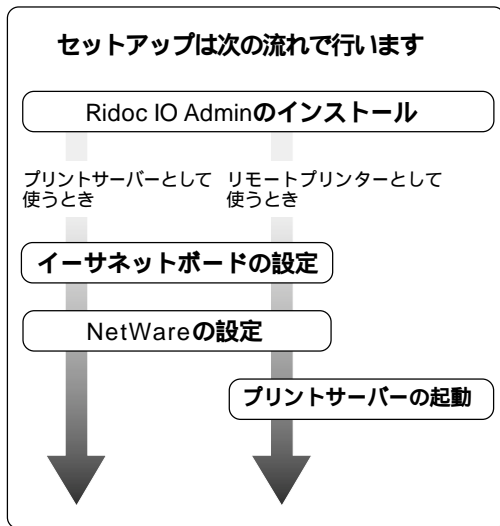
❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver プリントサーバー名
```

補足

❒ プリンターが設定どおり動作していると、「プリントジョブ待機中」と表示されます。

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J でのセットアップ

NetWareのプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここではNetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jにおいて、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。

補足

- ❒ NetWare が正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - プリントサーバーの名前…PSERV
  - プリンターの名前…R-PRN
  - キューの名前…R-QUEUE

❖ NetWare 5/5.1Jをお使いの方へ

- ピュアIP環境でお使いの場合、プリンターはプリントサーバーとしてお使いください。リモートプリンターとしては使用できません。
- ピュア IP 環境でお使いの場合、プリンターで TCP/IP プロトコルが使用できるように設定してください。設定方法については、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。Ridoc IO Adminのインストール手順については、P.107「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合はP.91「プリントサーバーとして使う」に進みます。

リモートプリンターとして使う場合はP.96「リモートプリンターとして使う」に進みます。

プリントサーバーとして使う

重要

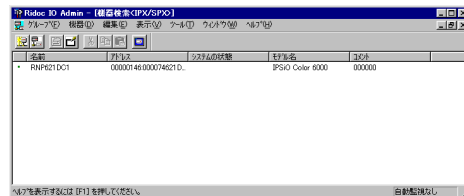
- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jにおいてプリントサーバーとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

1 サーバーにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

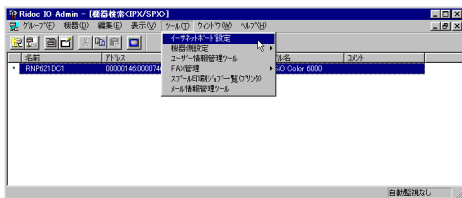
3 [グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] または [TCP/IP] を選択します。

設定できるプリンターの一覧が表示されます。

補足

- ❒ NetWare 5/5.1JのピュアIP環境でお使いの方は、[TCP/IP] を選択してください。
- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の [ネットワーク] ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

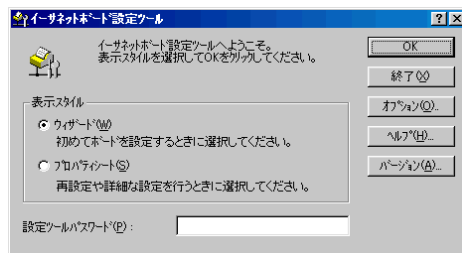
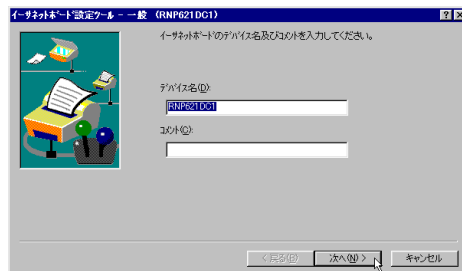
制限

- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[イーサネットボード設定]をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

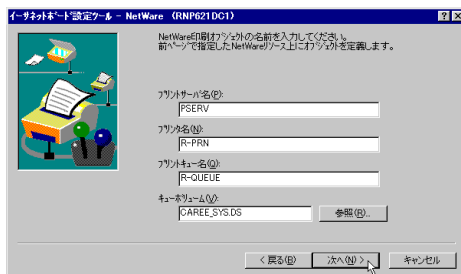
補足

- ❒ NetWare 5/5.1JのピュアIP環境でご使用の方はP.94「NetWare 5/5.1JのピュアIP環境でお使いの方へ」に進んでください。

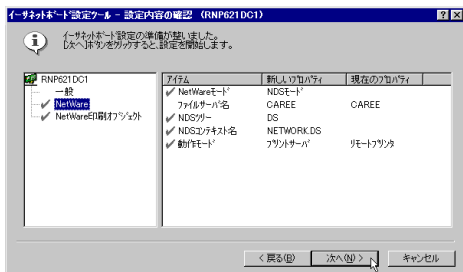
5 [ウィザード]をクリックして選択し、[OK]をクリックします。

6 必要に応じて[デバイス名]と[コメント]を入力し、[次へ]をクリックします。

7 [NetWare] に✓印を付け、[次へ] をクリックします。

8 [NDSモード] をクリックして選択し、[ファイルサーバ名]、[NDSツリー]、[NDSコンテキスト名] を入力し、[次へ] をクリックします。

- [ファイルサーバ名] には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例では CAREE）を入力します。[参照] をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。
- [NDSツリー] には、プリントサーバーを作成するNDSツリーの名前を入力します。[参照] をクリックして一覧から NDS ツリーを選択することもできます。
- [NDSコンテキスト名] には、プリントサーバーを作成するコンテキストを入力します。 コンテキストは Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド（.）で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORK にプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。[参照] をクリックして一覧から NDS コンテキストを選択することもできます。

9 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[キューボリューム] を入力し、[次へ] をクリックします。

- [プリントサーバ名] には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字で47バイト以内で入力します。

- ［プリンタ名］には、NetWareのプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- ［プリントキュー名］には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。
- ［キューボリューム］には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームはオブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。［参照］をクリックして一覧からボリュームを選択することもできます。

10 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 Ridoc IO Adminを終了します。

補足

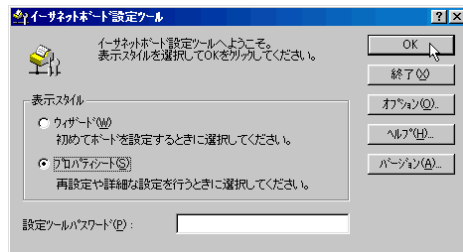
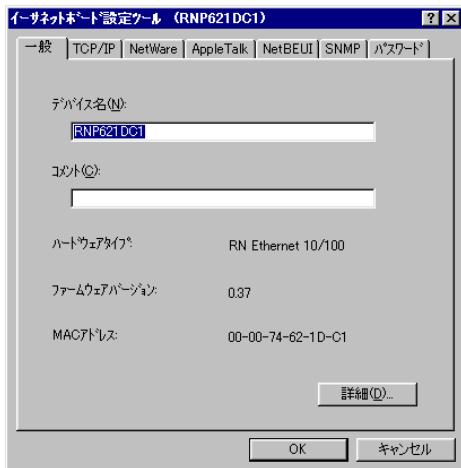
❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

```
F:> NLIST USER /A/B
```

❒ 正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバー名（この例ではPSERV）が表示されます。

NetWare 5/5.1J のピュア IP 環境でお使いの方へ

NetWare 5/5.1Jのピュア IP環境でキューベースのプリントサーバーを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバー上にプリントキューを作成する必要があります。この場合、P.91「プリントサーバーとして使う」の手順5以降を次のように操作してください。

1 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。

［イーサネットボード設定ツール］ダイアログが表示されます。

2 ［NetWare］タブをクリックします。

3 環境を設定します。

❶ ［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

補足

❒ 47バイト以内で入力してください、

❷ ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ NDS コンテキスト名に、NDS コンテキスト名を入力します。

[参照] をクリックすると、一覧から選択できます。

補足

- ❒ コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❹ [動作モードグループ] の [プリントサーバ] をクリックして選択します。

❺ [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

4 Ridoc IO Adminを終了します。

この後の操作は、P.96「リモートプリンターとして使う」の手順**9**以降を参考にして操作を行ってください。ただし、手順**14**-❸、❹の操作は不要です。

リモートプリンターとして使う

重要

- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jにおいてリモートプリンターとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。
- ❒ NetWare 5/5.1JのピュアIP環境の場合、リモートプリンターとして使用できません。

1 サーバーにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューの［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］を選択します。

設定できるプリンターの一覧が表示されます。

補足

- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.139「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Admin はリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。

[イーサネットボード設定ツール] ダイアログが表示されます。

6 [NetWare] タブをクリックします。

7 環境を設定します。

❶ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

❒ 47バイト以内で入力してください、

❷ [ファイルサーバ名] に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

[参照] をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ NDSコンテキスト名に、NDSコンテキスト名を入力します。

[参照]をクリックすると、一覧から選択できます。

補足

❒ コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❹ [動作モードグループ]の[リモートプリンタ]をクリックして選択します。

❺ [リモートプリンタ番号]ボックスにプリンター番号を入力します。

重要

❒ プリントサーバー上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❻ [OK]をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

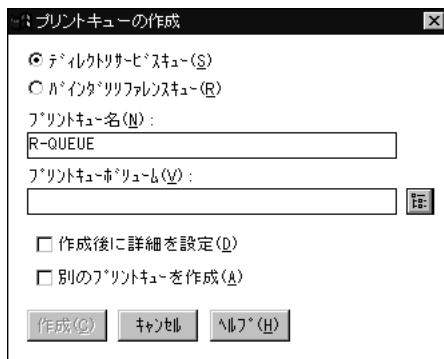
8 Ridoc IO Adminを終了します。

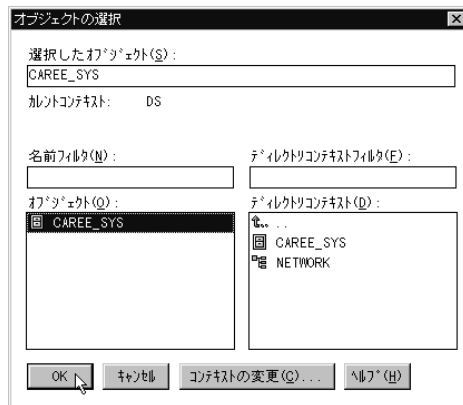
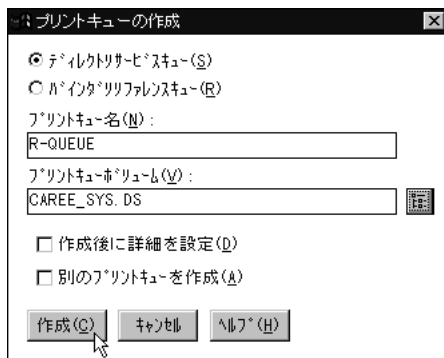
9 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

10 プリントキューを作成します。

❶ 印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、[オブジェクト]メニューの[作成]をクリックします。

❷ ［オブジェクトクラス］ボックスの「プリントキュー」をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

❸ ［プリントキュー名］ボックスにプリントキューの名前を入力します。

❹ ［プリントキューボリューム］ボックスのブラウザボタンをクリックします。

❺ ［オブジェクト］ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

❻ 設定内容を確認し、［作成］をクリックします。

11 プリンターを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。

❷ ［オブジェクトクラス］ボックスの「プリンタ」をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

❸ ［プリンタ名］ボックスにプリンターの名前を入力します。

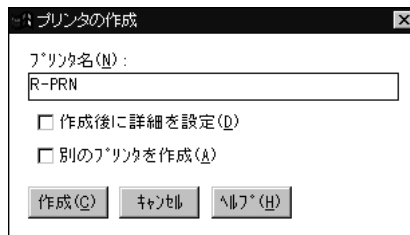
プリンタの作成

ﾌﾟﾘﾝﾀ名(N)：

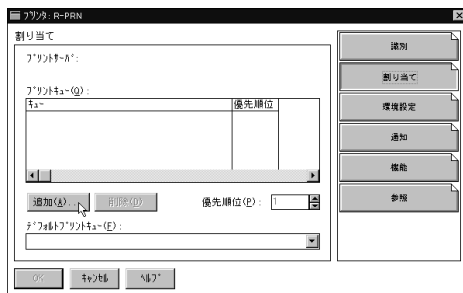
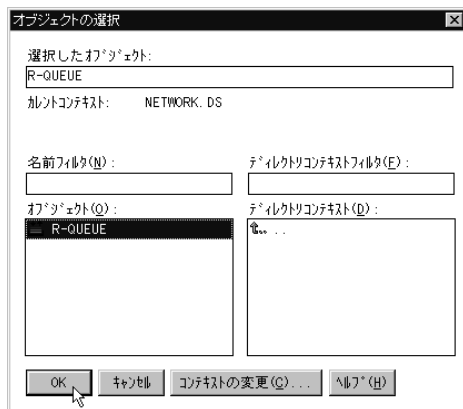
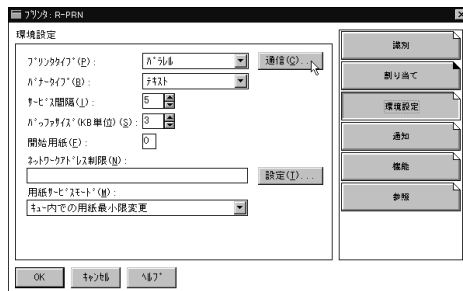
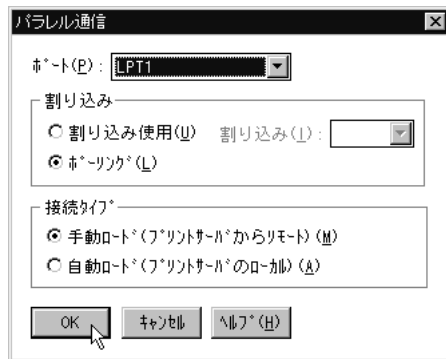
R-PRN

作成後に詳細を設定(D)

別のﾌﾟﾘﾝﾀを作成(A)

作成(C)　ｷｬﾝｾﾙ　ﾍﾙﾌﾟ(H)

❹ ［作成後に詳細を設定］をクリックして✓印を付け、［作成］をクリックします。

12 **作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。**

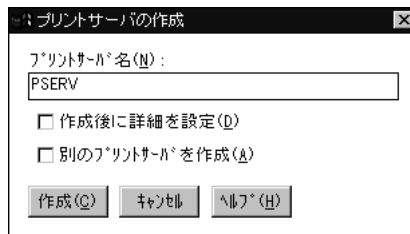
❶ **[割り当て]をクリックし、[割り当て]グループの［追加］をクリックします。**

❷ **［オブジェクト］ボックスで手順10で作成したキューをクリックして反転表示させ、[OK］をクリックします。**

❸ **[環境設定]をクリックし、[プリンタタイプ]ボックスのドロップダウンメニューから「パラレル」を選び、[通信］をクリックします。**

❹ **[接続タイプ] グループの [手動ロード] をクリックし、[OK］をクリックします。**

❺ **設定内容を確認し、[OK]をクリックします。**

13 プリントサーバーを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

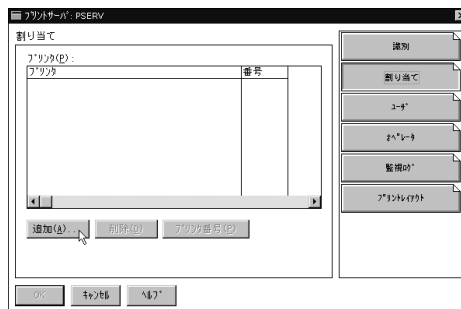
❷ [オブジェクトクラス]ボックスの「プリントサーバ」をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

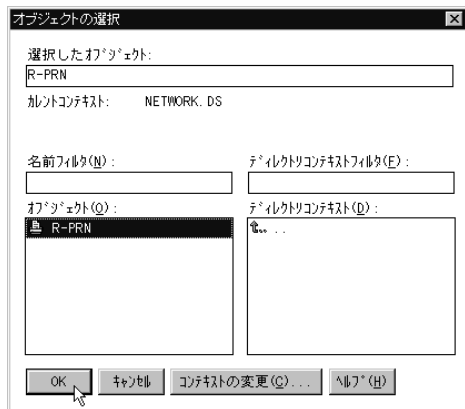
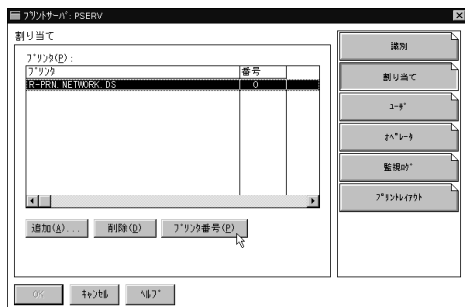
❸ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

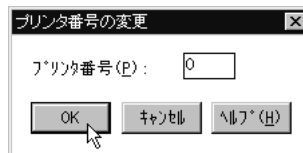
重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名（手順7-❶）と一致させてください。

❹ [作成後に詳細を設定] をクリックして✓印を付け、[作成] をクリックします。

14 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。

❶ [割り当て]をクリックし、[割り当て]グループの [追加] をクリックします。

❷ ［オブジェクト］ボックスで手順11で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

オブジェクトの選択
選択したｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ:
R-PRN
ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ:　NETWORK.DS
名前ﾌｨﾙﾀ(N):
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｺﾝﾃｷｽﾄﾌｨﾙﾀ(F):
ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ(O):
R-PRN
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｺﾝﾃｷｽﾄ(D):
OK　ｷｬﾝｾﾙ　ｺﾝﾃｷｽﾄの変更(C)...　ﾍﾙﾌﾟ(H)

❸ ［プリンタ］グループで手順❷で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［プリンタ番号］をクリックします。

❹ プリンター番号を入力し、［OK］をクリックします。

重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号（手順7-❺）と一致させてください。

❺ 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

15 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ 停止する

```
CAREE: unload pserver
```

❖ 起動する

```
CAREE: load pserver
```

Ridoc IO Adminでは、TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用して以下のようなことができます。

- 機器の操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンターで印刷したページ数をユーザーコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードを使った各パソコンごとの印刷枚数を確認できます。
- ファクス通信管理レポート取得、ファクスあて先データの登録と取得ができます。
- 登録された印刷ログコードごとに、印刷やスキャンなど各機能の利用可・不可を管理できます。

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWare ネットワーク クライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows XP 日本語版	Microsoft Windows XPに付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows XPに付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows XPに付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

補足

- ❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

ここでは、イーサネットボードの設定の変更の方法と設定画面について説明します。

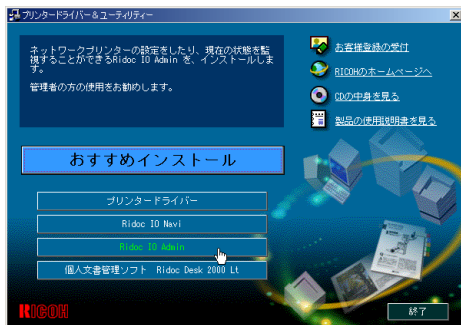
Ridoc IO Admin のインストール

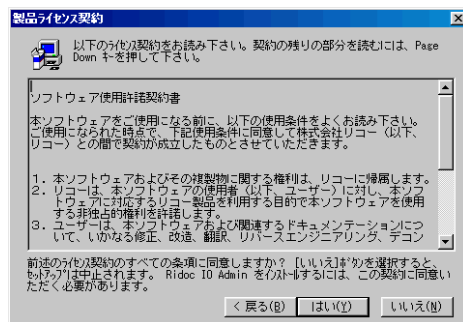
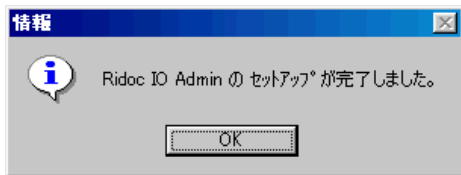
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ **システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。**

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Admin］をクリックします。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

4 ［製品ライセンス契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Adminiをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

補足

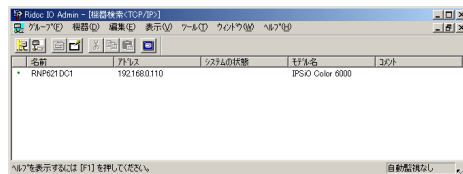
❒ Ridoc IO Adminのインストールが終了したときに、コンピューターを再起動するよう指示するダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、コンピューターを再起動してから、操作を続けてください。

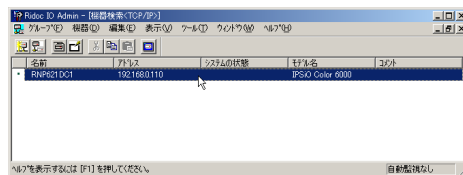
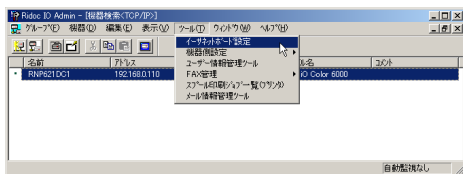
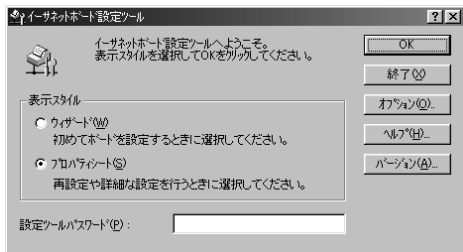
ネットワークインターフェースボードの設定を変更するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

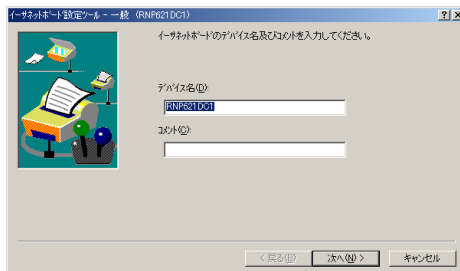
機器の一覧が表示されます。

補足

❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

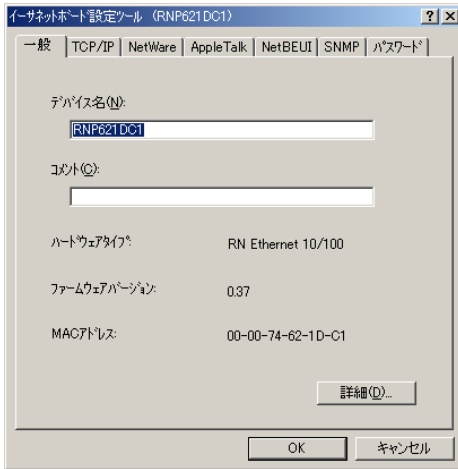
3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更するプリンターをクリックして反転表示させます。

4 [ツール]メニューの[イーサネットボード設定]を選択します。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 [ウィザード]または[プロパティシート]を選択し、[次へ]をクリックします。

- [ウィザード]は、初めてネットワークインターフェースボードの設定をするときに選択します。
- [プロパティシート]は、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する場合や詳細な設定を行うときに選択します。

ウィザードを選択した場合

❶ 必要な項目を入力し、[次へ]をクリックします。

この後の操作はヘルプを参照してください。

プロパティシートを選択した場合

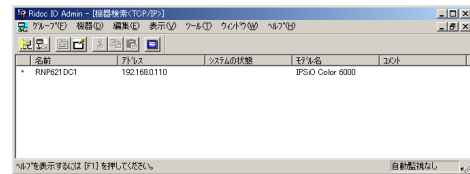
❶ ダイアログボックスに設定の一覧が表示されます。

ダイアログボックスの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

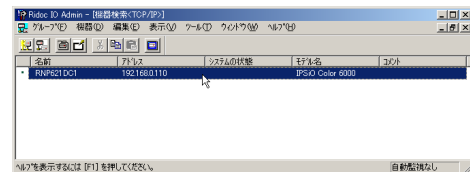
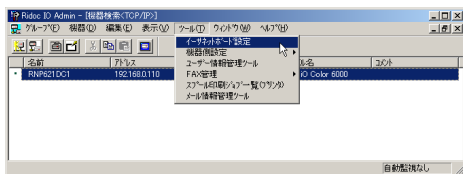
ユーザー情報を管理するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

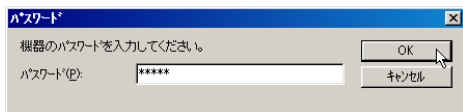
2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

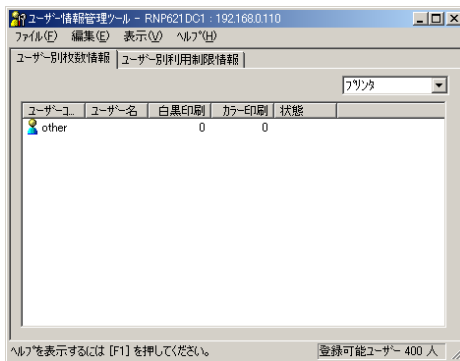
機器の一覧が表示されます。

補足

❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

3 一覧からユーザー情報を管理するプリンターをクリックして反転表示させます。

4 [ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。

パスワードを入力する画面が表示されます。

5 パスワードを入力して [OK] をクリックします。

 補足

- ❒ 工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。

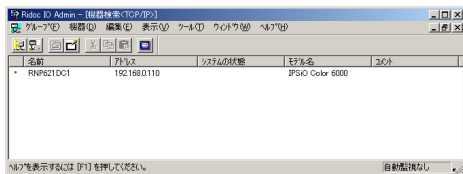
ユーザー情報管理ツールが起動します。

ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、ユーザー情報管理ツールのヘルプを参照してください。

省エネモードを設定するには

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

機器の一覧が表示されます。

補足

- ❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

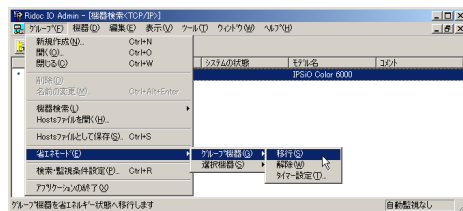
一覧から省エネモードを設定するプリンターをクリックして反転表示させます。

補足

- ❒ グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。

3 ［グループ］メニューをクリックし、［省エネモード］をポイントします。

グループ内の機器を全て設定する場合は［グループ機器］を選択ます。選択した機器だけを設定する場合は［選択機器］します。いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。

❖ グループ機器の場合

❖ 選択機器の場合

設定値について詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

Web ブラウザを使用する

本ネットワークインターフェースボードにはプリンターをネットワークプリンターとして使用する機能に加え、ネットワークインターフェースボードがWebサーバとして動作し、ネットワーク上のコンピュータからWebブラウザを使ってプリンターの状態を確認したり、ネットワークインターフェースボードの設定を変更したりできる機能を搭載しています。

❖ プリンター側の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。この機能を使用する場合は、プリンター側でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

参照

TCP/IP に関するプリンターの設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

❖ コンピュータ側の動作環境

対象OS	対応ブラウザ
Microsoft Windows 95/98/Me	Microsoft Internet Explorer 4.01 以降 Netscape Navigator 4.06 以降
Microsoft Windows 2000	
Windows XP	
Microsoft Windows NT 4.0	
Microsoft Windows NT3.51	
MacOS 7.6.1 〜9.1	
MacOS X v10.1〜	
Solaris 2.5/2.6/2.7/7/8	

制限

- ❒ ブラウザの［戻る］ボタンで前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- ❒ ブラウザで設定しているフォントサイズによっては一部表示がずれることがあります。Internet Explorerでは「中」以下、Netscape Navigatorでは「10ポイント」以下でお使いいただくことをお勧めします。
- ❒ Webブラウザから取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Webブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

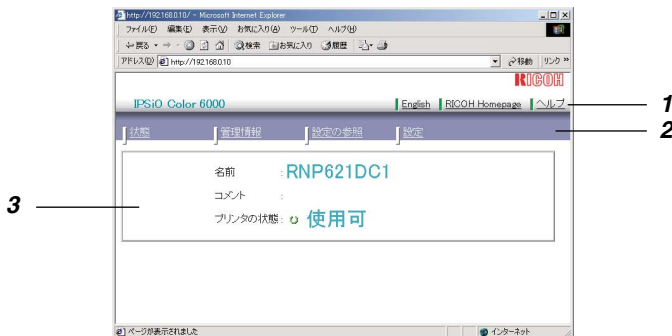
トップページを表示する

コンピュータ側でWebブラウザを起動し、URLとしてプリンターのIPアドレスを指定すると、トップページが表示されます。次はURLの入力例です。

```
http://192.168.0.10/
```

（プリンターのIPアドレスが192.168.0.10の場合）

補足

- ❒ ネットワーク内にDNSサーバが置かれている場合は、ホスト名を使った指定ができます（たとえばhttp://webmonitor.netprinter.ricoh.co.jp/）。DNSサーバにプリンターのIPアドレスとホスト名を登録してください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- ❒ Proxyサーバを設置した場合、ご使用のブラウザにProxyサーバを設定してください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。

1. ヘッダーボタン

[English] をクリックすると英語表示に切り替わります。[RICOH Homepage] をクリックするとリコーのホームページに、[ヘルプ] をクリックするとリコーのホームページ内にあるヘルプにジャンプします。

制限

❒ リコーのホームページやヘルプにアクセスするには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

重要

❒ ダイヤルアップ接続している場合など、インターネットへの接続形態によっては料金が発生しますのでご注意ください。

補足

❒ ヘルプは HTML ファイルとして CD-ROM にも収録されています。CD-ROMの¥HELP¥WSMHELP¥JA¥index.htmlを開いてください。

❒ 英語表示に切り替えても、[管理情報] メニューの [ジョブ履歴] 画面の一部に日本語が表示されます。

2. メニューボタン

設定・確認を行うためのボタンが並んでいます。

補足

❒ [設定] をクリックするとユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。このダイアログではパスワードだけを入力します。工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。

❒ パスワードはリモートメンテナンス(mshell)で使用するパスワードと共通です。

3. 表示エリア

ネットワークインターフェースボードの名前とコメント文、プリンターの状態が表示されます。

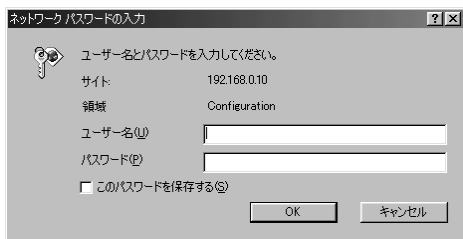
ボードの設定を変更するには

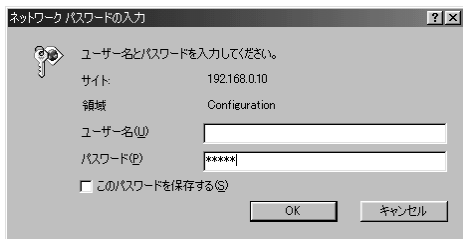
1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http:// （設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

3 ［設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。

5 設定したい項目をクリックして、各種設定を行ないます。

以下の項目が設定できます。

❖ [一般]

イーサネットボード/拡張無線LANボードと機器の一般設定を行います。

❖ [TCP/IP]

イーサネットボード/拡張無線LANボードと拡張1394ボードのTCP/IPプロトコルに関する設定を行います。

❖ [SNMP]

コミュニティー名に応じた設定を行います。コミュニティー名は10種類まで登録できます。

❖ [NetWare]

イーサネットボード/拡張無線LANボードののNetWareで印刷するための設定を行います。

❖ [AppleTalk]

イーサネットボード/拡張無線LANボードのAppleTalkプロトコルに関する設定を行います。

❖ [NetBEUI]

イーサネットボード/拡張無線LANボードのNetBEUIプロトコルに関する設定を行います。

❖ [IEEE 1394]

拡張1394ボードのIP over 1394に関する設定を行います。

制限

- ❒ この選択項目は拡張1394ボードが装着されているときに表示されます。

❖ [IPP認証]

IPPプロトコルを使って印刷するときの認証に関する設定を行います。

❖ [用紙種類]

機器にセットされている用紙の種類をドロップダウンメニューから選択します。

❖ [パスワードの変更]

パスワードを変更します。

このパスワードはネットワークや機器の設定を変更するときや、スプールされているジョブを削除するときに入力します。

❖ [IEEE 802.11b（無線LAN）]

拡張無線LANボードの通信に関する設定を行います。

制限

- ❒ この選択項目は拡張無線LANボードが装着されているときに表示されます。

補足

- ❒ 設定方法について詳しくは、ヘルプを参照してください。

ボード設定の参照を行なうには

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http:// （設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

3 Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

4 [設定の参照] をクリックします。

5 参照したい項目をクリックします。

以下の項目が設定できます。

❖ [一般]

機器の一般設定が表示されます。

❖ [TCP/IP]

TCP/IPプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［NetWare］

NetWareで印刷するための設定が表示されます。

❖ ［AppleTalk］

AppleTalkプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［NetBEUI］

NetBEUIプロトコルに関する設定が表示されます。

❖ ［IEEE 1394］

拡張1394ボードのIP over 1394に関する設定が表示されます。

❖ ［IEEE 802.11b （無線LAN）］

無線LANボードの通信に関する設定が表示されます。

名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したプリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けることができます。

表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティを使用します。

❖ Ridoc IO Admin
TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルが使用できる場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、本機に付属している CD-ROM からインストールします。インストール方法については、P.91 「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

❖ Webブラウザ
TCP/IPプロトコルが使用できる場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前（プリンター名）とNetBEUIプロトコルで表示される名前（コンピュータ名）は個別に変更します。コメントは共通です。

❒ 工場出荷時には「RNP」とイーサネットボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:11:7Aの場合は「RNP62117A」です。コメントは設定されていません。

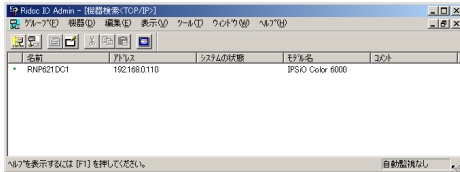
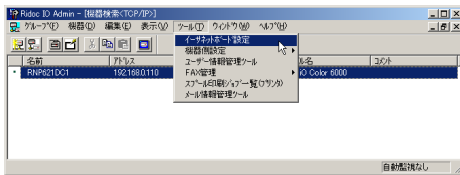
Ridoc IO Admin の場合

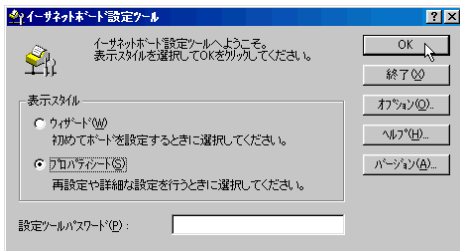
1 Ridoc IO Adminを起動します。

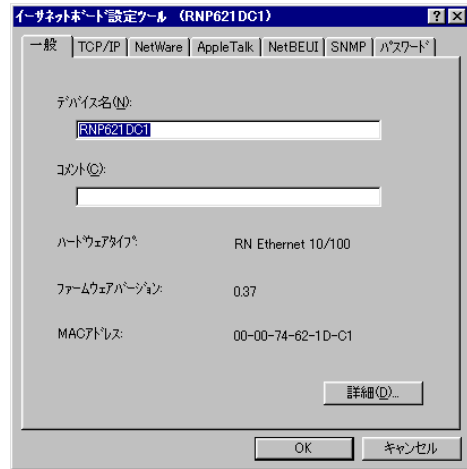
2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

補足

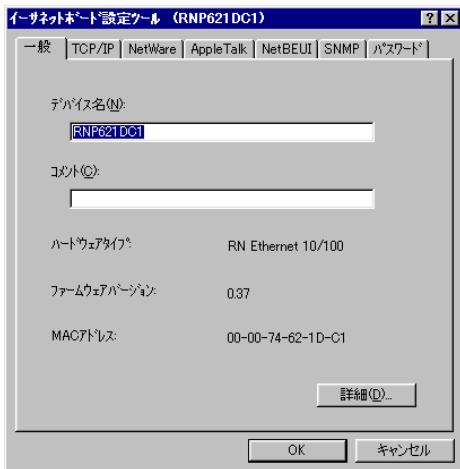
❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

3 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが起動します。

4 ［プロパティシート］を選択し、［OK］をクリックします。

TCP/IPの場合

❶ ［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。

- ［デバイス名］には、プリンターの名前を半角の英数字で 13 バイト以内で入力します。工場出荷時には RNP で始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶ [一般] タブの [コメント] にコメントを入力します。

- [コメント] には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

❷ [NetBEUI] タブをクリックします。

❸ [コンピュータ名] に名前を入力します。

- [コンピュータ名] には、NetBEUIプロトコルでプリンターを識別するための名前を入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|. およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- [コメント] には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

5 [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定がプリンターに送信されます。

6 Ridoc IO Adminを終了します。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

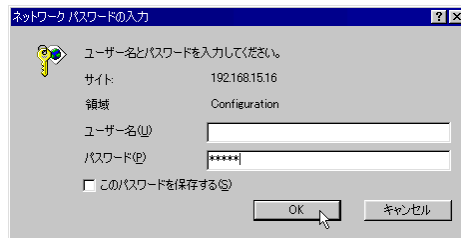
2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Web ブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

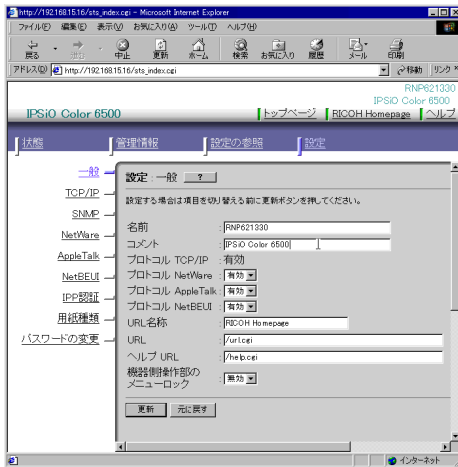
3 [設定] をクリックします。

パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

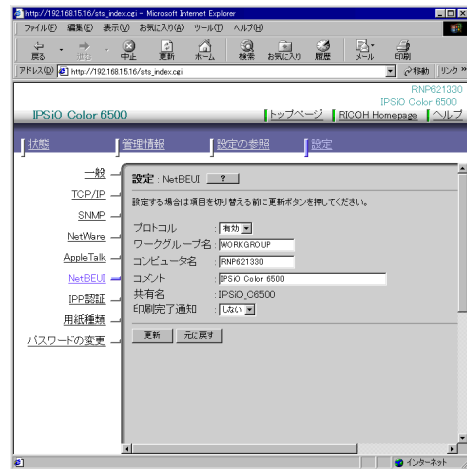
工場出荷時の設定のままの場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。

5 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ ［一般］の［名前］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。

- ［名前］には、プリンターの名前を半角の英数字で13バイト以内で入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。また、IP アドレスの設定方法として DHCP を選択した場合、入力できる文字は13バイト以内になります。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

NetBEUIの場合

❶ ［NetBEUI］をクリックします。

❷ ［コンピュータ名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。

- ［コンピュータ名］には、NetBEUIプロトコルでプリンターを識別するための名前を入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|. およびスペースを除く）で13バイト以内です。RNPで始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

6 ［更新］をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

7 Webブラウザを終了します。

機器の状態を表示する

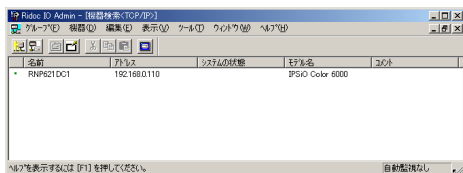
Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Admin の場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

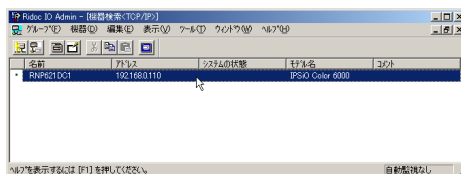
2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。

補足

❒ 状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、[機器] メニューの [開く] をクリックします。

プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。

補足

❒ ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi の場合

Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

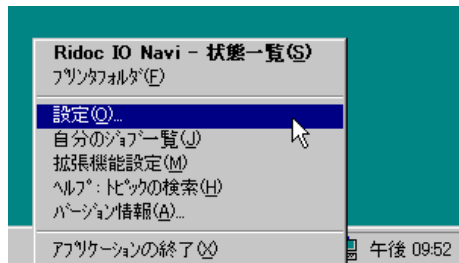
監視するプリンターに設定するには

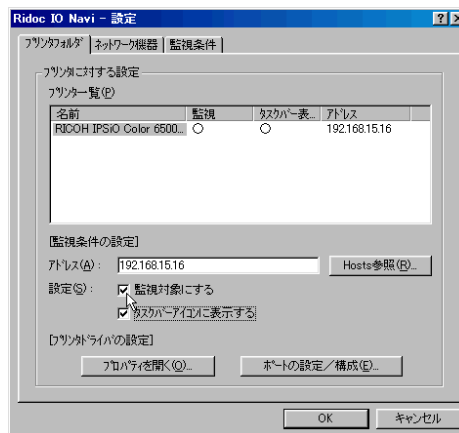
1 Ridoc IO Naviを起動します。

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

2 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。

設定されている場合には、P.129「プリンターの状態を表示する」に進みます。

3 目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの[設定]をクリックします。

[Ridoc IO Navi-設定] ダイアログが表示されます。

4 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、[設定] の [監視対象にする] に✓印を付けます。

補足

- ❒ ［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると､タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

5 ［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

プリンターの状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

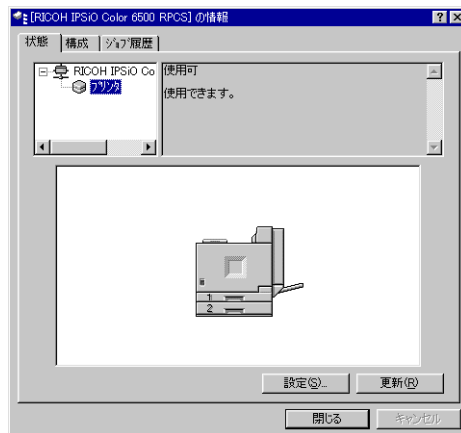
2 タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態が表示されます。

補足

- ❒ 状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は､Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。

プリンターの状態が､ダイアログに表示されます。

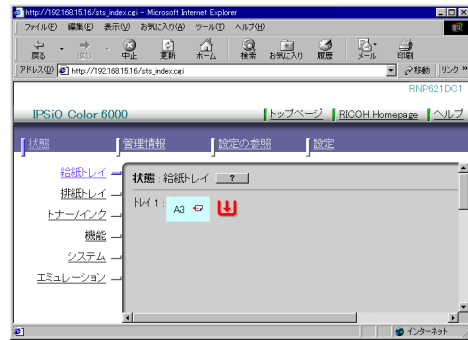
補足

- ❒ ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

3 [状態]をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。

補足

- ❒ それぞれの項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

操作パネルを使用して、プリンターを使用するための基本的な各種の設定や調整をすることができます。設定できる機能の一覧は以下のとおりです。

各機能をご使用になるときは、表中のページを参照してください。

【メニュー】キー機能一覧表

カテゴリー	メニュー機能
キミツインサツブンショ	⇒使用説明書＜クライアント編＞「試し印刷/機密印刷する」
ヨウシセッテイ（⇒ P.134）	1.テサシ ヨウシサイズ
	2.トレイ ヨウシサイズ
	3.ヨウシシュルイ
	4.ジドウトレイセンタク
	5.ユウセンキュウシトレイ
テストインサツ （以下のメニューは使用するエミュレーションによって異なります（⇒ P.138））	1.システムセッテイリスト
	2.インサツジョウケンリスト
	3.メニューリスト
	4.トウロクフォームリスト
	5.カラーサンプル
	6.ゼンモジインサツ
	7.フォントリスト
	8.PSジョウホウリスト
	9.ヘキサダンプ
キュウシトレイ センタク [*1]	印刷する給紙トレイを切り替えます。

カテゴリー	メニュー機能
エミュレーションヨビダシ	エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。
インサツジョウケン *1	アプリケーションやパソコンに合わせて印刷条件を設定します。
インサツブスウ *2	印刷する部数を設定します。
プログラム トウロク *1	設定した印刷条件を登録します。
チョウセイ／カンリ（⇒ P.143）	1.カイチョウホセイ
	2.ノウドチョウセイ
	3.インサツイチ チョウセイ
	4.フツウシセッテイ
	5.メンテナンスクリア
	6.クリーニング/チョウセイ
	7.HDフォーマット
	8.ROMアップデート
	9.デンパジョウタイ
	10.ムセンセッテイチショキカ
	11.ゲンゾウセットカクニン
システムセッテイ（⇒ P.152）	1.エラーレポートインサツ
	2.エラースキップ
	3.ガゾウエラーショリ
	4.エラーヒョウジセッテイ
	5.ハイシトレイセッテイ
	6.ジョブシワケ

カテゴリー	メニュー機能
システムセッテイ（⇒ P.152）	7.ヨネツモード
	8.ショウエネモード
	9.エミュレーション ケンチ
	10.ユウセン エミュレーション
	11.ユウセン メモリー
	12.スプールインサツ
システムセッテイ（EM）（⇒ P.159）	1.ハクシハイシ
	2.ヨウシナシエラー
	3.ジドウハイシジカン
	4.マクロキャッシュ [*3]
	5.グラフィックスセッテイ [*3]
インターフェースセッテイ（⇒ P.164）	1.ジュシンバッファ
	2.I/Fキリカエジカン
	3.ネットワークセッテイ
	4.パラレルI/Fセッテイ
	5.IEEE 1394セッテイ
	6.IEEE 802.11b

[*1] エミュレーション選択時に表示されます。

[*2] RP-GL/2、RTIFF使用時に表示されます。詳細は、RP-GL/2 使用説明書、RTIFF 使用説明書を参照してください。

[*3] エミュレーションモジュール タイプC搭載時に表示されます。

用紙設定メニュー

用紙設定メニューでは、各トレイにセットする用紙のサイズや種類を設定できます。また、特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外したり、優先給紙トレイを設定することができます。

メニュー名	設定項目
用紙設定（ヨウシセッテイ）	手差し用紙サイズ（テサシ　ヨウシサイズ） ⇒使用説明書＜運用編＞「用紙について」
	トレイ用紙サイズ（トレイ　ヨウシサイズ） ⇒使用説明書＜運用編＞「用紙について」
	用紙種類（ヨウシシュルイ） ⇒使用説明書＜運用編＞「用紙について」
	自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）⇒ P.135 「特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す」
	優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）⇒ P.136 「優先給紙トレイを設定する」

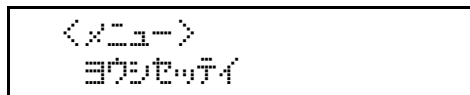
特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す

自動トレイ選択の対象としないトレイを設定します。「自動トレイ選択」とは、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択される機能のことです。工場出荷時は手差しトレイ（マルチ）を除くトレイが「タイショウニスル」になっています。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

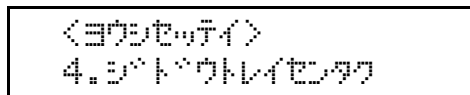
ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

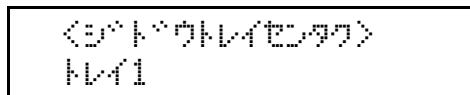
2【▲】または【▼】キーを押して「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
ヨウシセッテイ

用紙設定メニューが表示されます。

3【▲】または【▼】キーを押して「4.ジドウトレイセンタク」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ヨウシセッテイ>
4.ジドウトレイセンタク

給紙トレイの選択画面が表示されます。

4【▲】または【▼】キーを押して自動トレイ選択の対象としないトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

<ジドウトレイセンタク>
トレイ1

対象にするかどうかの選択画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して「タイショウニシナイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<トレイ1>
＊タイショウニシナイ

設定が完了し、２秒後に手順**4**のメニューに戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

インサツデキマス
RPCS

優先給紙トレイを設定する

優先給紙トレイを設定します。「優先給紙トレイ」とは、プリンターの電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択やリミットレス給紙のときに一番最初に対象となるトレイです。工場出荷時の設定は「トレイ１」です。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

用紙設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「5.ユウセンキュウシトレイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ヨウシセッテイ>
5.ユウセンキュウシトレイ
```

給紙トレイの選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して目的のトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ユウセンキュウシトレイ>
*トレイ1
```

設定が完了し、２秒後に用紙設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス
RPCS
```

テスト印刷メニュー

テスト印刷メニューでは、プリンターの使用環境や印刷に関する条件の設定状況の一覧表を印刷することができます。

また、印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

メニュー名	種類	対象	印刷される内容
テスト印刷（テストインサツ）	システム設定リスト（システムセッテイリスト）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	プリンターのシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。印刷される内容については、P.141「システム設定リストの見かた」を参照してください。
	印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）	RPDL、R55、R98、R16、RP-GL/2、RTIFF	印刷条件の設定内容が印刷されます。
	メニューリスト（メニューリスト）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	【メニュー】キーを使って設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。
	登録フォームリスト（トウロクフォームリスト）	RPDL、PS3	登録されているフォームの一覧が印刷されます。
	カラーサンプル（カラーサンプル）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	カラーサンプルが印刷されます。
	全文字印刷（ゼンモジインサツ）	RPDL、R55、R98、R16	現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できる全ての文字が印刷されます。

メニュー名	種類	対象	印刷される内容
テスト印刷 (テストインサツ)	フォントリスト (フォントリスト)	RPDL、R55、R98、R16	現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるフォントの一覧が印刷されます。
	PS情報リスト [*1] (PSジョウホウリスト)	PS3	PS3のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
	ヘキサダンプ (ヘキサダンプ)	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷するモードに移行します。

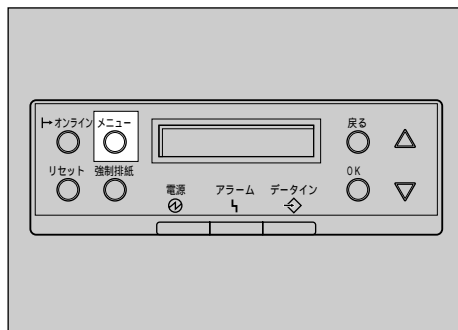
[*1] 詳細については、PostScript 3使用説明書を参照してください。

システム設定リストを印刷する

ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明しますが、基本的な操作方法は他のリストを印刷する場合も同じです。

重要

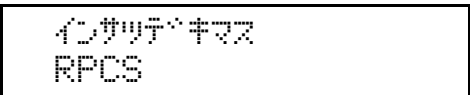
❒ システム設定リストはA4またはLetter(8 1/2×11)で印刷されます。給紙トレイや手差しトレイ(マルチ)にA4またはLetter(8 1/2×11)の用紙をセットしてください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 テストインサツ
```

テスト印刷メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して印刷したいをリスト名を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<テストインサツ>
1.システムセッテイリスト
```

印刷終了後、テスト印刷メニューに戻ります。

4 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

システム設定リストの見かた

システム設定リスト　RICOH IPSiO Color 6500

1 ■システム構成情報

機番	43U6101007	トータルカウンター	8180[6090/2090]

搭載メモリ	160 MB
ファームウェアバージョン	プリンター[V2.02 / G0705910E]，エンジン[113 R4:14 / G0705150F]，ＮＣＳ[X.XX /G0705911E]
コントローラオプション	ＵＳＢ
搭載エミュレーション	RPCS [2.2pre.7]，R98 [1.05c]，R16 [1.06a]，R55 [1.06a]，RPGL [1.3.0]，RPGL2 [1.3.0]，RTIFF [4.18C]，RPDL [2.09d]，MSIS(OPTION) [1.79]
オプション機器	トレイ２，トレイ３，手差しトレイ（マルチ）

2 ■用紙設定

優先給紙トレイ	トレイ１
手差しトレイ（マルチ）	Ａ４　297 x 210mm普通紙 自動トレイ選択対象外
トレイ１	Ａ４　297 x 210mm普通紙
トレイ２	Ａ４　297 x 210mm普通紙
トレイ３	Ａ３Ｒ　297 x 420mm普通紙

3 ■調整／管理

濃度調整

ブラック	0	シアン	0
マゼンタ	0	イエロー	0

印刷位置調整

縦：トレイ１	0.0	縦：トレイ２	0.0
縦：トレイ３	0.0	縦：手差しトレイ（マルチ）	0.0
横：手差しトレイ（マルチ）	0.0	横：トレイ１	0.0
横：トレイ２	0.0	横：トレイ３	0.0

普通紙設定

トレイ１	厚口カラー用紙	トレイ２	普通紙
トレイ３	普通紙	手差しトレイ（マルチ）	普通紙

4 ■システム設定

＊マークは設定値が初期値と異なる項目です。

エラーレポート印刷	しない	エラースキップ	しない
画像エラー処理	ジョブリセット	エラー表示設定	全て表示
排紙トレイ設定	本体排紙トレイ	ジョブ仕分け	しない
予熱モード	移行しない	省エネ設定　移行設定	移行する
省エネ設定　移行時間	＊１５分	エミュレーション検知	しない
優先エミュレーション	ＲＰＣＳ	優先メモリー	ページメモリー

5 ■システム設定（ＥＭ）

白紙排紙	しない	用紙なしエラー	印刷実行時
自動排紙時間	排紙しない	マクロキャッシュ	マクロなし
原点位置	左　下	ペン１線幅	*0.0mm
ペン２線幅	*0.0mm	ペン３線幅	*0.0mm
ペン４線幅	*0.0mm	ペン５線幅	*0.0mm
ペン６線幅	*0.0mm	ペン７線幅	*0.0mm
ペン８線幅	*0.0mm	ＳＰコマンド	排紙する
給紙モード	標　準		

6 ■登録プログラム一覧

プログラム番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
エミュレーション名	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

7 ■インターフェース設定

受信バッファ	１２８ＫＢ	Ｉ／Ｆ切り替え時間	１５秒

ネットワーク設定

ＩＰアドレス	192.168.000.110	サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウエイアドレス	192.168.000.001	ネットワークブート	しない
ＮＷフレームタイプ	自動選択	ＴＣＰ／ＩＰ	有　効
ＮｅｔＷａｒｅ	有　効	ＮｅｔＢＥＵＩ	有　効
ＡｐｐｌｅＴａｌｋ	有　効	イーサネット速度	自動設定

パラレルインターフェース設定

パラレルタイミング	ＡＣＫ　ｏｕｔｓｉｄｅ	パラレル通信速度	高　速
セレクト状態	ＨＩＧＨ	インプットプライム	無　効
双方向通信	す　る		

■インターフェース情報

アクセスコントロール範囲１	000.000.000.000-000.000.000.000	アクセスコントロール範囲２	000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲３	000.000.000.000-000.000.000.000	アクセスコントロール範囲４	000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲５	000.000.000.000-000.000.000.000		
イーサネットアドレス	00.00.74.62.1d.c1	プリンタ名	RNP621DC1
動作モード(ＮＷ)	リモートプリンター [0]	プリントサーバ名(ＮＷ)	RNP621DC1
ファイルサーバ名(ＮＷ)	未設定	ＮＤＳコンテキスト名(ＮＷ)	未設定
ワークグループ名(ＮＢ)	WORKGROUP	ネットワークパス名(ＮＢ)	¥¥RNP621DC1¥IPSiO_C6500

8 ■エラー履歴

なし

1. **システム構成情報**

プリンターのバージョン情報やオプションの装着状況、搭載エミュレーションやプリンター言語の名称などが印刷されます。

2. **用紙設定**

現在選択されている優先給紙トレイと各トレイにセットされている用紙のサイズと種類など用紙設定メニューの設定項目が印刷されます。

3. **調整／管理**

濃度調整や印刷位置設定など、調整／管理メニューの設定項目が印刷されます。

4. **システム設定**

システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

5. **システム設定（EM）**

システム設定（EM）メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

「原点位置」以下の項目は、RP-GL/2（オプション）が装着されているときに表示されます。

＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

6. **登録プログラム一覧**

登録されているプログラムのエミュレーション名が表示されます。

7. **インターフェース設定、インターフェース情報**

インターフェース設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

8. **エラー履歴**

本機で発生したエラーの履歴が印刷されます。

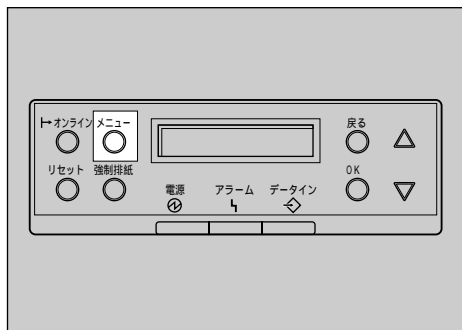
調整管理メニュー

調整管理メニューでは、階調や濃度などの印刷条件の調整のほか、HDのフォーマットやメニューのプロテクトといったプリンターの管理についての設定ができます。

メニュー名	設定項目
調整管理（チョウセイ／カンリ）	階調補正（カイチョウ　ホセイ） ⇒使用説明書＜保守編＞「清掃・調整する」
	濃度調整（ノウドチョウセイ） ⇒使用説明書＜保守編＞「清掃・調整する」
	印刷位置調整（インサツイチ チョウセイ） ⇒使用説明書＜保守編＞「清掃・調整する」
	普通紙設定（フツウシセッテイ） ⇒ P.144 「普通紙の種類を設定する」
	メンテナンスクリア（メンテナンスクリア） ⇒使用説明書＜保守編＞「消耗品を交換する」
	クリーニング/調整（クリーニング/チョウセイ） ⇒ P.145 「クリーニング・調整する」
	HDフォーマット（HDフォーマット） ⇒ P.146 「拡張HDDをフォーマットする（初期設置以降）」
	ROMアップデート（ROMアップデート） • 現在未対応です。
	電波状態（デンパジョウタイ） ⇒ P.147 「無線LANの電波状態を表示する」
	無線設定値初期化（ムセンセッテイチショキカ） ⇒ P.149 「無線LANの設定値を初期化する」
	現像セット確認（ゲンゾウセットカクニン）

普通紙の種類を設定する

使用する普通紙の種類として、「普通紙」「中厚口」のどちらかを選択します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜メニュー＞ チョウセイ/カンリ

調整/管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「4.フツウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜チョウセイ/カンリ＞ 4.フツウシセッテイ

4 【▲】または【▼】キーを押して設定するトレイをを表示させ、【OK】キーを押します。

＜フツウシセッテイ＞ 1.トレイ1

5 【▲】または【▼】キーを押して設定する普通紙の種類をさせ、【OK】キーを押します。

＜トレイ1＞ *フツウシ

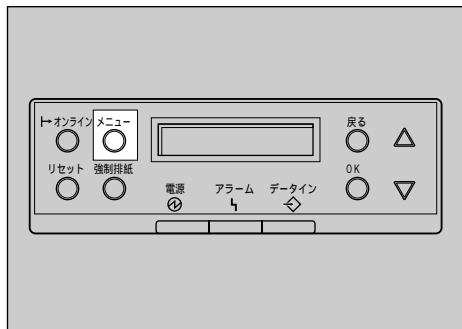
6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

インサツデキマス RPCS

クリーニング・調整する

本機内部のクリーニングと調整を行います。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

調整 / 管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「6.クリーニング／チョウセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ/カンリ>
6.クリーニング/チョウセイ
```

確認のメッセージが表示されます。

```
クリーニング/チョウセイ
OKキーデ シッコウシマス
```

4 【OK】キーを押します。

クリーニング／調整が始まり、実行中のメッセージが表示されます。

```
チョウセイチュウデス
```

クリーニング／調整が終了すると、調整/管理のメニュー画面に戻ります。

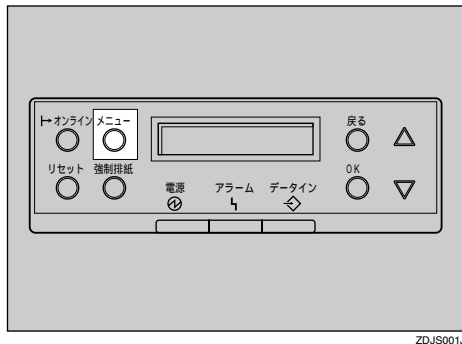
5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス
RPCS
```

拡張 HDD をフォーマットする（初期設置以降）

初期の設置以降に拡張 HDD のフォーマットが必要になったときは、調整/管理メニューの「HDフォーマット」を実行します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;メニュー&gt;
 チョウセイ/カンリ
```

調整/管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「7.HDフォーマット」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;チョウセイ/カンリ&gt;
7.HDフォーマット
```

補足

- 「7.HD フォーマット」が表示されない場合は拡張HDDが正しく取り付けられていません。使用説明書＜オプション設置編＞「オプションを取り付ける」を参照して、拡張HDDを取り付け直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

4 確認のメッセージが表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。

```
HDフォーマット
OKキーデ ジッコウシマス
```

拡張HDDがフォーマットされ、再起動のメッセージが表示されます。

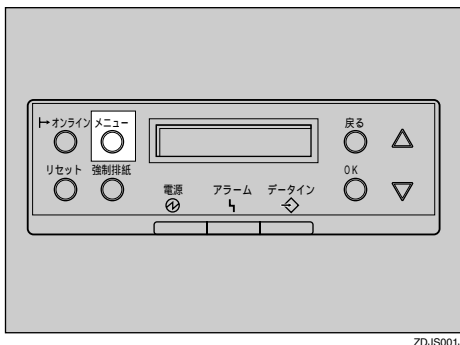
5 本機の電源を一度切り、再び電源を入れます。

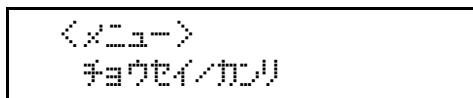
```
カンリョウシマシタ デンゲン
ヲ イレナオシテ クダサイ
```

拡張HDDのフォーマットが終了し、使用できるようになります。

無線 LAN の電波状態を表示する

無線LANの電波状態を確認する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「デンパジョウタイ」を実行します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

「チョウセイ/カンリ」メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「6.デンパジョウタイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾁｮｳｾｲ/ｶﾝﾘ>
9.ﾃﾞﾝﾊﾟｼﾞｮｳﾀｲ
```

現在の電波状態が表示されます。

```
ﾃﾞﾝﾊﾟｼﾞｮｳﾀｲ
ｻｲﾘｮｳ          100%
```

```
ﾃﾞﾝﾊﾟｼﾞｮｳﾀｲ
ﾘｮｳ             50%
```

```
ﾃﾞﾝﾊﾟｼﾞｮｳﾀｲ
ﾌｱﾝﾃｲ          30%
```

```
ﾃﾞﾝﾊﾟｼﾞｮｳﾀｲ
ﾂｳｼﾝﾌｶ        15%
```

補足

- ❒「9.デンパジョウタイ」が表示されない場合はインターフェース設定メニューのネットワーク設定内「I/F選択」で「IEEE 802.11b」が選択されていません。「I/F選択」で「IEEE 802.11b」を選択してから、再度調整管理メニューの「電波状態」を選択してください。
- ❒ インターフェース設定の「IEEE 802.11b」内「通信モード」で「アドホック」または、「802.11アドホック」を選択していると、電波の状態が確認できません。選択を「インフラストラクチャー」に変えてから確認しなおしてください。
- ❒【OK】キーを押すたびに電波状態が更新されます。

- ❒ 電波状態は、76〜100%で最良、41〜75%で良、21〜40%で不安定、0〜20%で通信不可と表示されます。電波の状態が不安定または通信不可のときは、電波の通る場所に移動するか障害物を取り除いてください。
- ❒ 近くで電子レンジや無線機器等をお使いになると、電波の状態に影響を与えることがあります。

4【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス
RPCS
```

無線 LAN の設定値を初期化する

無線LANの設定値を初期化する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「ムセンセッテイチショキカ」を実行します。

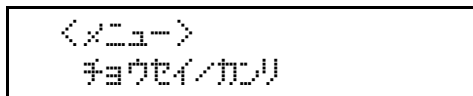
補足

- ❒ この実行により初期化される項目は、インターフェース設定メニュー「IEEE 802.11b」の「通信モード」「チャンネル」「通信速度」「SSID」「WEP設定」の5項目です。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

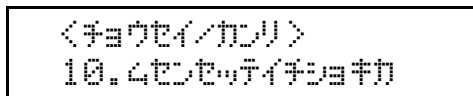
ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
チョウセイ/カンリ

「チョウセイ/カンリ」メニューが表示されます。

3【▲】または【▼】キーを押して「10.ムセンセッテイチショキカ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<チョウセイ/カンリ>
10.ムセンセッテイチショキカ

確認のメッセージが表示されます。

4 【OK】キーを押します。

無線設定値が初期化され、通常の画面が表示されます。

システム設定メニュー

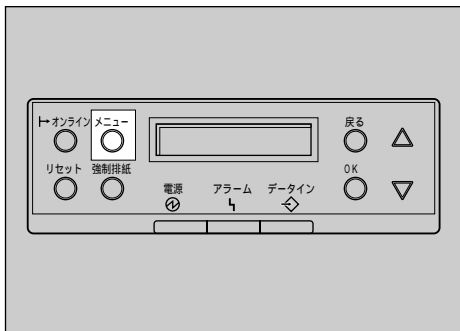
システム設定メニューでは、プリンターを使用する上で基本的な動作に関る設定を行うことができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

メニュー名	設定項目
システム設定（システムセッテイ）	エラーレポート印刷（エラーレポート　インサツ）
	エラースキップ（エラースキップ）
	画像エラー処理（ガゾウエラーショリ）
	エラー表示設定（エラーヒョウジセッテイ）
	排紙トレイ設定（ハイシトレイ　セッテイ）
	ジョブ仕分け（ジョブシワケ）
	予熱モード（ヨネツモード）
	省エネモード（ショウエネモード）
	エミュレーション検知（エミュレーション ケンチ）
	優先エミュレーション（ユウセン エミュレーション）
	優先メモリー（ユウセンメモリー）
	スプール印刷（スプールインサツ）

システム設定を変更する

ここでは設定の手順を、「省エネモード」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「システムセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 システムセッテイ
```

システム設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「8.ショウエネモード」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<システムセッテイ>
8.ショウエネモード
```

設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して設定を変更する項目を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ショウエネモード>
2.イコウジカン
```

5 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

設定が確定し、約２秒後に省エネモードメニューに戻ります。

```
<イコウジカン>
*15フン
```

6【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

システム設定メニューの設定項目

ここでは、システム設定メニューの設定項目について説明します。

（網かけ）は工場出荷時の設定です。

❖ エラーレポート印刷

プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

する	しない

❖ エラースキップ

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種が一致するトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定します。

しない	プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
即時	用紙サイズ・用紙種類が一致しない場合でもすぐに印刷します。
1分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを1分間表示し、その後印刷を実行します。

5分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを5分間表示し、その後印刷を実行します。
10分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを10分間表示し、その後印刷を実行します。
15分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを15分間表示し、その後印刷を実行します。

❖ 画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

ジョブリセット	エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。
エラーレポート印刷	エラーが発生したページはエラー発生直前の画像まで印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブの終わりにエラーレポートを印刷します。エラーコードと、エラーによって出力結果が不完全になったページを最大16ページ分印刷します。

❖ エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

全て表示	簡易表示

❖ 排紙トレイ設定

排紙先がシステムデフォルトに指定されたときや、排紙先の指定がないときに優先的に選択される排紙先を設定します。「自動切り替え排紙」を選択すると、印刷中にある排紙トレイが満杯になった場合に自動的に他のトレイに排紙されます。ただしオプションの４ビンプリントポストが取り付けられている場合に有効な機能です。

本体トレイ	上トレイ1〜4	フィニッシャートレイ	自動切り替え排紙

❖ ジョブ仕分け

ジョブ単位ごとに排紙位置を振り分けて交互に排紙するか選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。フィニッシャーが取り付けられている場合に有効な機能です。

する	しない

❖ 予熱モード

予熱モードとは、プリンター待機状態の消費電力を節約する機能です。プリンターを一定時間使用しないと予熱モードに切り替わります。予熱モードからプリンターの起動までは約30秒です。予熱モードでプリンターを一定時間使用しないと省エネモードに切り替わります。

移行する	移行しない

❖ 省エネモード

省エネモードとは、プリンターの消費電力を節約する機能です。

- **移行設定**

  省エネモードに移行するかしないかを選択します。

移行する	移行しない

- **移行時間**

  省エネモードに移行する場合は、移行するまでの時間を設定します。ここで設定した時間の間プリンターを使用しないと、省エネモードに切り替わります。省エネモード中はプリンターの起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

5分	15分	30分	45分	60分

❖ エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのは、RP-GL/2、PS3です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーションで設定されているエミュレーションになります。

する	しない

❖ 優先エミュレーション

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

RPCS	RPGL	RTIFF	PS3	RPDL
R98	R16	R55	プログラム1〜16	

補足

- ❒「プログラム1」〜「プログラム16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。RPCS、PS3以外で有効です。

❖ 優先メモリー

ユーザーメモリー（外字やフォントなどのデータを登録するためのメモリー）とページメモリー（印刷を高速化するためのメモリー）のどちらを優先して割り当てるかを設定します。

ユーザーメモリー	ページメモリー

❖ 普通紙設定

トレイごとの紙の種類を設定します。

普通紙	厚口カラー用紙

❖ スプール印刷

スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、転送が終わってから印刷する機能です。

しない	する

補足

- ❒ オプションの拡張HDDを装着時にのみ表示されます。
- ❒「スプールスル」を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。また、印刷が完了する前にプリンターの電源を切ると、プリントジョブはハードディスクに保存されます。
- ❒ ⇒ P.223 「スプール印刷について」

システム設定（EM）メニュー

システム設定（EM）メニューでは、DOSで使用する上での基本的な動作に関わる設定を行うことができます。対象となるエミュレーションは、RPDL、RP-GL/2、RTIFF、R98、R16、R55です。通常は、工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定（EM）の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

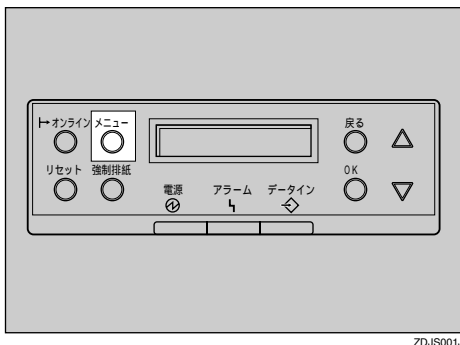
メニュー名	設定項目
システム設定（EM） （システムセッテイ（EM））	白紙排紙（ハクシ ハイシ）
	用紙なしエラー（ヨウシナシエラー）
	自動排紙時間（ジドウハイシジカン）
	マクロキャッシュ（マクロキャッシュ）[*1]
	グラフィックス設定（グラフィックスセッテイ）[*1]

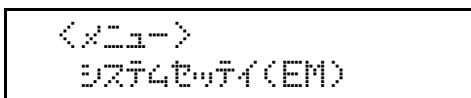
[*1] エミュレーションモジュール タイプC搭載時に表示されます。

システム設定（EM）を変更する

ここでは設定の手順を、「自動排紙時間」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2【▲】または【▼】キーを押して「システムセッテイ(EM)」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
システムセッテイ(EM)

システム設定（EM）メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.ジドウハイシジカン」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<システムセッテイ(EM)>
3.ジドウハイシジカン
```

設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ジドウハイシジカン>
*15 ビョウ
```

設定が確定し、約２秒後に**3**の画面に戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス    トレイ1
R16                 A4タテ
```

システム設定（EM）メニューの設定項目

ここではシステム設定（EM）メニューの設定項目について説明します。　　　　は工場出荷時の設定です。

❖ **白紙排紙**

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します

する	排紙します。
スペース	排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。
しない	排紙しません。

❖ **用紙なしエラー**

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。「常時」に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

印刷実行時	用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。
用紙なし時	用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

❖ 自動排紙時間

一定時間パソコンからデータが送信されない場合にプリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて【強制排紙】キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。「なし」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。 設定された時間が経過すると送信されてきたデータが１ページの途中までであっても強制的に印刷されるため、適切な時間を設定することが重要です。

自動排紙しない	10秒	15秒	20秒	25秒	60秒	300秒

❖ マクロキャッシュ

プリンター言語モジュールがマクロキャッシュとして使用するメモリの上限を設定します。

マクロなし	マクロ　2.1MB	マクロ　4.3MB	マクロ　8.4MB

❖ グラフィックス設定

オプショングラフィックスの各種設定を行います。

原点位置	原点の位置（左下、中央）を設定します。
ペン1〜8 線幅	ペンの線幅を設定します。
SPコマンド	排紙する/しないを設定します。
給紙モード	給紙モード（標準、自動）を設定します。

インターフェース設定メニュー

インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンとプリンターをパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

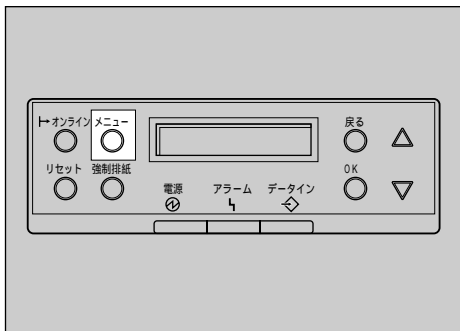
メニュー名	設定項目
インターフェース設定 （インターフェースセッテイ）	受信バッファ（ジュシンバッファ）
	I/F切り替え時間（I/Fキリカエジカン）
	ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）
	パラレルI/F設定（パラレルI/Fセッテイ）
	IEEE 1394設定 [*1] （IEEE 1394セッテイ）
	IEEE 802.11b [*2] （IEEE 802.11b）

[*1] 拡張1394ボード タイプB装着時に表示されます。

[*2] 拡張無線LANボード タイプB装着時に表示されます。

インターフェース設定を変更する

ここでは設定の手順を、「I/F切り替え時間」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;ﾒﾆｭｰ&gt;
 ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ
```

インターフェース設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「2.I/F切り替え時間」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
2.I/Fｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ
```

設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<I/Fｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ>
*15 ﾋﾞｮｳ
```

設定が確定し、約２秒後にインターフェース設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

インターフェース設定メニューの設定項目

ここではシステム設定メニューの設定項目について説明します。［網掛け］は工場出荷時の設定です。

❖ 受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

128KB	256KB	512KB

❖ I/F切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。

設定時間が短すぎると１つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

10秒	15秒	20秒	25秒	60秒

❖ ネットワーク設定

ネットワーク環境にプリンターを接続して印刷するために設定をします。イーサネット速度以外の各項目の設定方法と説明は、かんたんセットアップ「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウエイアドレス
- ネットワークブート
- NWフレームタイプ
- ユウコウプロトコル

- **イーサネット速度**
  イーサネットボードを使ってネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

自動設定	10Mbps固定	100Mbps固定

- I/F選択

イーサネット	IEEE 802.11b

❖ パラレルI/F設定

パソコンとプリンターをパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。

- **パラレルタイミング**
  パラレルインターフェースのタイミングを設定します。
  ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 1」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

ACK inside	ACK outside	STB down

- **パラレル通信速度**
  パラレル通信でDMA転送を使用して受信を行うかどうかを設定します。

高速	標準

- **セレクト状態**
  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

HIGH	LOW

- **インプットプライム**
  インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

有効	無効

- **双方向通信**
  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「シナイ」に設定します。

する	しない

❖ IEEE 1394設定

IEEE 1394を使用するときに必要な項目を設定します。拡張1394ボード装着時に表示されます。

- **IPアドレス**
- **サブネットマスク**
- IP over 1394

有効	無効

- SCSI print

有効	無効

- SCSI print双方向

する	しない

❖ IEEE 802.11b

無線LANを使用するときに必要な項目を設定します。拡張無線LANボード装着時に表示されます。

- **通信モード**
  無線LANの通信モードを設定します。

802.11 アドホック	アドホック	インフラストラクチャー

- **チャンネル**
  アドホックモード選択時に使用するチャンネルを1～14の間で設定します。

- 通信速度
  無線LANの通信速度を設定します。

自動設定	11 Mbps固定	5.5 Mbps固定	2 Mbps固定	1 Mbps固定

- SSID設定
  SSIDを設定します。設定したSSIDを確認することもできます。

ヒョウジ	ニュウリョク

補足

❒ SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号<ASCII　0x20〜0x7e>で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

- WEP設定
  無線LANの暗号化を設定します。

有効	無効

補足

❒ 64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。

❒ 別途ネットワークから WEP の暗号キーの設定が必要です。WEP キーが未入力の状態で通信はできません。

❒ 最初にネットワークでWEPキーを設定してから、WEP設定を「有効」にしてください。

Windows からのファイル直接印刷

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0からlpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷できます。また、Windows 95/98/Meからはftpコマンドを使って印刷できます。

OS	lpr	rcp	ftp
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0	✓	✓	✓
Windows 95/98/Me			✓

この方法で印刷できるファイルは、プリンターが搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

補足

- エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript 3用のポストスクリプトファイルなどです。

ここではセットアップのしかたと、印刷のしかたについて説明します。

セットアップ

1 プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.218「DHCPを使用する場合」を参照してください。

2 WindowsにTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

補足

- ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000、Windows XP、Windows NTでlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」または「Microsoft TCP/IP印刷」を組み込みます。

補足

- ❒ Windows 95/98/Meの場合は必要ありません。
- ❒ 印刷時にIPアドレスを使ってプリンターを指定する場合のセットアップは、これで終了です。プリンターの指定にホスト名を使用するときは、P.171「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

❖ DNSを使用している場合

DNSサーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

❖ DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷方法は、セットアップガイドを参照してください。

❖ その他の場合

印刷を行うコンピュータのhostsファイルにネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

補足

- ❒ hosts ファイルはネットワーク内で通信するホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。
- ❒ Windows 2000、Windows XP、Windows NTでhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。

  ① メモ帳などでhostsファイルを開きます。
  hostsファイルは以下の場所にあります。
  ```
  \WINNT\SYSTEM32\DRIVERS\ETC\HOSTS
  ```
  ¥WINNTはWindows 2000、Windows XP、Windows NTのインストール先のディレクトリです。

  ② hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。
  ```
  192.168.15.16  ricoh  # NP
  ```
  192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。

  ③ ファイルを上書き保存します。

- ❒ Windows 95/98/Meでhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。

① ¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。

② 作成した ¥WINDOWS¥HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。

③ IPアドレスとホスト名をWindows 2000、Windows XP、Windows NTの場合と同じ形式で追加し、ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使った印刷方法を説明します。

操作の前に

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。

- Windows 95/98の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [MS-DOSプロンプト]
- Windows Meの場合：
  [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOSプロンプト]
- Windows 2000の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- Windows XPの場合：
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- Windows NT 4.0の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト]

補足

❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。

❒ 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。下表に示すセッション数以下になってから印刷し直してください。

コマンド/本体搭載メモリー	64MB以上
rcp、rsh	5
ftp	3

❒ ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳細については、使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」を参照してください。

エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

lpr

❖ IPアドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -Sプリンターの IPアドレス [-Pオプション] [-Ol] \パス名\ファイル名
```

❖ IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのホスト名 [-Pオプション] [-Ol] \パス名\ファイル名
```

補足

- ❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -Ol（大文字のOと、小文字のL）オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -Ol C:\PRINT\file1
```

rcp

あらかじめ hosts ファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」

```
c:> rcp \パス名\ファイル名 [\パス名\ファイル名...] プリンターのホスト名:[オプション]
```

補足

- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2 ricoh:filetype=RPS
```

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put \パス名\ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput \パス名\ファイル名 [\パス名\ファイル名...]
```

補足

- ❒ mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

制限

- ❒ ファイル名に「=」と「,」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp  プリンターのIPアドレス
```

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
User:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

 補足

- ❒ バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:\PRINT\file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

SNMP

本イーサネットボードと、拡張1394ボード（オプション）にはUDPとIPX上で動作するSNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMPマネージャを使ってプリンターの情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

補足

❒ コミュニティ名の設定方法には、次の設定方法があります。

- コマンドラインからtelnetを使用して設定することができます。⇒ P.181 「SNMP」
- Ridoc IO Admin からイーサネットボード設定ツールを使用して設定することができます。⇒Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- Webブラウザから設定することができます。⇒CD-ROM内のヘルプを参照してください。

❖ サポートしているMIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

telnet によるリモートメンテナンス（mshell）

telnetを使ってプリンターの状態や設定内容を確認や、各種の設定を行うことができます。

補足

- リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnetを起動してから終了するまでの手順は次のようになります。

制限

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてtelnetを起動します。

```
% telnet プリンターのIPアドレス
```

補足

- IPアドレスの代わりにホスト名を使用するときは/etc/hostsの設定が必要です。

2 パスワードを入力します。

補足

- 工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。

3 コマンドを入力します。

参照

使用できるコマンドについて詳しくは、P.177「コマンド一覧」を参照してください。

4 telnetを終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enterキーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enterキーを押します。

補足

- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。

❒ 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。

❒ リセットしてもActive状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態（プリンターへのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

❒「help」と入力すると使用できるコマンドの一覧が表示されます。

```
msh> help
```

❒「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使い方が表示されます。

```
msh> help コマンド名
```

TCP/IP アドレス

TCP/IP（IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス）の表示や設定を行うにはifconfigコマンドを使用します。

❖ **表示**

```
msh> ifconfig
```

❖ **設定**

```
msh> ifconfig インターフェース パラメーター アドレス
```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether sie0	LANインターフェース
ip1394 [*1] fwip0 [*1]	IEEE 1394インターフェース
wlan [*2] wi0 [*2]	無線LANインターフェース

*1 拡張1394ボード（オプション）装着時に指定できます。

*2 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

パラメーター	設定される項目
なし	IPアドレス
netmask	サブネットマスク
broadcast	ブロードキャストアドレス

❖ **インターフェース切り替え**

拡張無線LANボード（オプション）接続時に、イーサネットと無線LANのどちらを使用するか指定することができます。

```
msh> ifconfig インターフェース up
```

補足

❒ 拡張1394ボード（ip1394）を指定することはできません。

（例）　LANインターフェースのIPアドレスを192.168.15.16に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

（例）　LANインターフェースのサブネットマスクを255.255.255.0に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

補足

- ❒ パラメーターで指定した項目が指定したアドレスに設定されます。
- ❒ サブネットマスクはLANインターフェース、無線LANインターフェース共通です。
- ❒ アドレスを16進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

アドレスについて

❖ **サブネットマスク**
IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ **ブロードキャストアドレス**
ネットワークの特定の全機器にデータを送るために決める特定のアドレスです。

補足

- ❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- ❒ 拡張 1394 ボード（オプション）装着時は、IEEE 1394インターフェースとLANインターフェースのサブネットマスクが重複しないように設定してください
- ❒ TCP/IPの設定はLANインターフェース、無線LANインターフェース共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行なうにはaccessコマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

❖ **表示**
```
msh> access
```

❖ **設定**
msh> access 対象番号 range 開始アドレス 終了アドレス
（例）アクセス可能なIPアドレスを192.168.0.10から192.168.0.20に設定する
```
msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

補足

- ❒ アクセスレンジは、印刷できるワークステーションをIP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。
- ❒ 開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- ❒ アクセスレンジは、5件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。
- ❒ Webブラウザ、telnetまたはRidoc IO Navi/Adminをご使用の場合、アクセスコントロールで制限されたIPアドレス以外からも使用できます。

❖ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定に戻します。全てのアクセスレンジが「0.0.0.0」になります。

ネットワークブート

ネットワークブートの設定をするには set コマンドを使用します。

```
msh> set パラメーター {on | off}
```

有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パラメーター	設定される方式
dhcp	DHCP

補足

- ❒ DHCPを使用するときはサーバの設定が必要です。

プロトコル

プロトコルの有効／無効を切り替えるには set コマンドを使用します。

msh> set プロトコル {up | down}

プロトコル	
appletalk tcpip netware netbeui scsiprint *1 ip1394 *1 lpr ftp rsh diprint web snmp ipp	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

*1　拡張1394 ボード（オプション）装着時に表示されます。

補足

❒ TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、プリンターの操作パネルを使って設定し直してください。

❒ TCP/IPを無効にすると、ip1394,lpr,ftp,rsh,diprint,web,snmp,ippも使用できなくなります。

プリンターの状態

プリンターの状態を表示するには表示内容に応じたコマンドを使用します。

msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	プリンターの状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）
info	給紙トレイや排紙トレイの情報（プリンター情報）
prnlog [ID番号]	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）

補足

❒ prnlog で ID 番号を指定するとジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

表示される内容について詳しくは、プリンター本体の使用説明書、およびP.200 「取得情報の内容」を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定状況を表示するにはshowコマンドを使用します。

```
msh> show [-p]
```

補足

- ❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- ❒ NetBEUIプロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフトJISが表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容について詳しくは、P.202「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

プリンターのシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するにはsyslogコマンドを使用します。

```
msh> syslog
```

参照

表示される内容について詳しくは、P.207「システムログ情報」を参照してください。

SNMP

コミュニティ名など SNMP に関する表示と変更を行うにはsnmpコマンドを使用します。

制限

- ❒ IEEE 1394インターフェース（オプション）は、TCP/IPプロトコルのみ有効です。

補足

- ❒ 設定できる登録番号は1〜10です。
- ❒ 登録番号の 1 〜 10 に public が存在しない場合、Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviからプリンターを参照することはできません。
- ❒ 登録番号1と2の工場出荷時の設定は次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	ricoh
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

❖ 表示

SNMP情報と使用可能なプロトコルを表示します。

```
msh> snmp ?
```

指定した登録番号の設定状態を表示します。

```
msh> snmp [-p] [登録番号]
```

補足

- ❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- ❒ 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

❖ コミュニティ名設定

指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

補足

- ❒ コミュニティ名は半角英数字で15バイト以内です。

❖ アクセスタイプ設定

登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)
no	アクセスできません (not accessible)

❖ プロトコル設定

使用可能なプロトコルを選択するには次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

```
msh> snmp {ip | ipx} {on | off}
```

- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

```
msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}
```

❖ アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

```
msh> snmp 登録番号 {ip | ipx} アドレス
```

補足

- ❒ TCP/IPを使用するときはアドレスとしてIPアドレスを入力します。

❒ IPX/SPXを使用するときはアドレスとしてIPXアドレスを入力します。IPXアドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードのMACアドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

（例）　登録番号3にIPアドレスを設定する（192.168.15.16）

```
msh> snmp 3 ip 192.168.15.16
```

（例）　登録番号3にIPXアドレスを設定する（ネットワーク番号=7390A448、MACアドレス=00:00:74:62:5C:65）

```
msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65
```

IPP

IPPの使用環境を設定するには、IPPコマンドを使用します。

❖ IPPの設定値表示

IPPの設定値を表示します。

```
msh> ipp
```

次の設定値が表示されます。

```
timeout=900(sec)
auth basic
```

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ IPPタイムアウトの設定

印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は 30 ～ 65535 秒です。

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

❖ IPPユーザー認証方式の設定

IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。

工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。

```
ipp auth {basic|digest|off}
```

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

❒ ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPPユーザーの登録」を参照してユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザーの登録

IPPを使って印刷できるユーザーを登録できます。

```
ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
IPP user name:user1
IPP password:*******
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed.
```

ダイレクトプリント

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定を行うにはdiprintコマンドを使用します。

❖ 表示

ダイレクトプリントプロトコルの設定を表示します。

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
timeout=300(sec)
bidirect off
```

- 「Port」使用するポート番号が表示されます。
- 「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

❖ タイムアウトの設定

ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。

```
msh> diprint  [0～65535]
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定値は300（秒）です。
- ❒ 0に設定した場合、タイムアウトを行ないません。

SMB

コンピュータ名やワークグループ名など NetBEUI 関連の項目を設定、削除するにはsmbコマンドを使用します。

```
msh> smb パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
comp	コンピュータ名（13バイト以下）
group	ワークグループ名（15バイト以下）
comment	コメント（31バイト以下）
clear comp	コンピュータ名のクリア
clear group	ワークグループのクリア
clear comment	コメントのクリア

ROUTE

TCP/IP ルーティングテーブルの設定をするには route コマンドを使用します。

routeコマンドを使うと、通常のネットワークではルーター装置等の環境により自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

- ❒ ルーティングテーブルの最大数は16です。

コマンド	設定される項目
route add [host|net] destination [*1] gateway [*1]	destinationで表されるhost(or network)ルートおよびgatewayで表されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。host/net省略時はhost設定となります。
route delete [host|net] destination [*1]	destinationで表されるhost(or network)ルートをテーブルから削除します。host/net省略時はhost設定となります。
route get [destination [*1]]	destination指定時は該当route情報のみ表示します。destination無指定時は全route情報を表示します。
route active [host|net] destination [*1] on/off	指定されたdestinationの有効/無効を切り替えます。host/net省略時はhost設定となります。
route add default gateway [*1]	デフォルトゲートウェイアドレスの設定
route flush	全route情報を削除します。

[*1] IPアドレス

補足

- ❒ ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ❒ ゲートウェイアドレスは、すべてのインターフェース共通になります。

SLP

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します。

NetWare5のPureIP環境でご使用の場合、SLPを用いてNetWareサーバを検索します。slpコマンドを使うと、SLPマルチキャストパケットが使用するTTL値(通過できるルーターの数+1)を指定できます。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定は1です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこのTTL値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- ❒ 設定できるSLPパケットのTTL値は1〜255です。

```
msh> slp ttl ttl_val
```

sprint

IEEE 1394（SCSI print）の設定をするにはsprintコマンドを使用します。

❖ 表示

IEEE 1394（SCSI print）の設定を表示します。

```
msh> sprint
```

❖ 双方向通信設定

IEEE 1394（SCSI print）とパソコン間の双方向通信を設定できます。工場出荷時の設定は"on"です。

```
msh> sprint bidi [on/off]
```

無線 LAN の設定

無線LANの設定をするにはwiconfigコマンドを使用します。

制限

- ❒ 拡張無線LANボード（オプション）装着時に設定できます。

❖ 表示

無線LANの設定を表示します。

```
msh> wiconfig
```

拡張無線LANカードの情報を表示します。

```
msh> wiconfig cardinfo
```

補足

- ❒ 無線 LAN インターフェースが有効になっていない場合、拡張無線LANカードの情報は表示できません。

❖ 設定

```
msh> wiconfig パラメータ
```

パラメーター	設定される項目
mode [ap|adhoc|802.11adhoc]	インフラストラクチャーモード（ap）、802.11アドホックモードまたはアドホックモード（adhoc）の設定ができます。 デフォルトは802.11アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時のSSIDを設定できます。 SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。
channel frequency	チャンネルを設定できます。 1-14の間で設定できます。 使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。
enc [on|off]	WEP機能の有効/無効を設定できます。WEP機能を有効にするには「on」無効にするには「off」を指定します。 有効にする場合は正しいWEPキーを入力してください。

パラメーター	設定される項目
key 文字列	64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じWEPキーを設定してください。
wiconfig auth [open|shared]	WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open：オープンシステム認証（デフォルト） shared：シェアードキー認証
rate [auto|11m|5.5m|2m|1m]	無線LANにおける通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto:自動設定（デフォルト） 11m:11Mbps固定 5.5m:5.5Mbps固定 2m:2Mbps固定 1m:1Mbps固定

スプール設定

スプール設定の使用環境を設定するには、spoolsw コマンドを使用します。スプール設定は「lpr」、「ipp」プロトコルに対応しています。

❖ 表示

スプール設定の設定値を表示します。

```
msh> spoolsw
```

❖ 設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール設定機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ ジョブの初期化

本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、プリンタの電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定できます。

```
msh>spoolsw clearjob {on |off}
```

❖ プロトコルの設定

プロトコルごとに設定を変えるには次のコマンドを使います。「lpr 」、「ipp 」プロトコルごとの指定ができます。

- lpr

  ```
  msh> spoolsw lpr {on | off}
  ```

- ipp

  ```
  msh> spoolsw ipp {on | off}
  ```

プリンター名の変更

プリンター名を変更するには、hostname コマンドを使用します。

```
msh> hostname インターフェース プリンター名
```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	LAN インターフェース [*1]
ip1394 [*2]	IEEE 1394 インターフェース
wlan [*3]	無線LANインターフェース

[*1] インターフェースの指定は省略可能です。その場合、LANインターフェースへ自動的に設定されます。

[*2] 拡張1394ボード（オプション）装着時に指定できます。

[*3] 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

補足

- ❒ プリンター名は、13バイト以下で設定してください。
- ❒ RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。
- ❒ LANインターフェースと無線LANインターフェースは同じプリンター名になります。

WINS 機能の設定

WINSサーバを指定するには、WINSコマンドを使用します。

補足

- ❒ WINSサーバ機能について詳しくは、⇒ P.220「WINSサーバーを使用する場合」を参照してください。

❖ WINSサーバの設定値表示

WINSサーバのIPアドレスを表示します。

```
msh> wins
```

次の設定値が表示されます。

```
wins: primary server 192.168.10.1  secondary
server server 192.168.10.2
wins server current config:
       primary server 192.168.10.1 secondary
server 192.168.10.2
      hostname RNP621DC1 ScopeID
```

補足

- ❒ ネットワークブートにDHCPを使用している場合、2行目に現在のWINSサーバのアドレスが表示されます。DHCPを使用していない場合は、2行目は表示されません。
- ❒ DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

❖ WINS機能を有効にする

```
msh> set wins {on|off}
```

- WINS機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。

❖ WINSサーバのアドレス設定

WINSサーバのアドレスを設定できます。

```
msh> wins {primary|secondary} アドレス
```

- 「primary」でプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- 「secondary」でセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。

AutoNet機能の設定

AutoNet機能を使用するには、setコマンドを使用します。

補足

❒ AutoNet機能について詳しくは、P.219「AutoNet機能を使用する」を参照してください。

```
msh> set autonet {on|off}
```

- AutoNet機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するにはpasswdコマンドを使用します。

重要

❒ パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

補足

❒ 工場出荷時は「ricoh」に設定されています。

1 passwdと入力します。

```
msh> passwd
```

2 現在のパスワードを入力します。

```
Old password:
```

3 新しいパスワードを入力します。

```
New password:
```

補足

❒ 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3〜8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。

❒ パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

4 新しいパスワードをもう一度入力します。

```
Retype new password:
```

SNTP

SNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して、NTPサーバと本機の時間とを合わせることができます。

SNTPの設定を変更するには、sntpコマンドを使用します。

制限

- ❒ サポートするNTPサーバはxnptd V3およびxnptd V4です。

❖ 表示

sntpの設定値を表示します。

```
msh> sntp
```

❖ NTPサーバのアドレス設定

NTPサーバのIPアドレスを設定できます。

```
msh> sntp server アドレス
```

❖ インターバルの設定

設定したNTPサーバと同期を取る間隔を指定します。

```
msh> sntp interval インターバル値
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定値は3600（秒）です。
- ❒ 設定できる値は16〜16384（秒）です。
- ❒ 0を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

❖ タイムゾーンの設定

NTPサーバから取得した時刻情報との時間差を設定できます。

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

補足

- ❒ 時間の書式は24時間単位となります。
- ❒ （例）時間差を+8時間に設定する

```
msh> sntp timezone +08：00
```

ネットワーク経由で確認できる情報

プリンターの状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

プリンターの状態

プリンターのステータスです。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。⇒使用説明書＜クライアント編＞「UNIXで使う」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.180 「プリンターの状態」「プリンターの状態」

❖ 状態表示メッセージ

ステータス	意味
Calibrating	カラー調整、または現像ユニット交換後の初期調整中です。
Call Service Center	エンジン部、またはコントローラ部に異常が発生しました。
Cover Open: Finisher Rear	フィニッシャーの後ろカバーが開いています。
Cover Open: Finisher Right	フィニッシャーの右カバーが開いています。
Cover Open: Finisher Upper	フィニッシャーの上カバーが開いています。
Cover Open: Front Cover	本体前カバーが開いています。
Cover Open: Lower Right Cover	増設トレイユニットの右カバーが開いています。
Cover Open: Mailbox	4ビンプリントポストのカバーが開いています。
Cover Open: Right Cover	本体給紙トレイの右カバーが開いています。

ステータス	意味
Cover Open: Left Cover	本体左カバーが開いています。
Cover Open: Upper Right Cover	本体右上カバーが開いています。
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Empty: Cyan Toner	シアントナーがなくなりました。
Empty: Magenta Toner	マゼンタトナーがなくなりました。
Empty: Yellow Toner	イエロートナーがなくなりました。
Energy Saver Mode	省エネモード状態です。
Error: Ethernet	イーサネットボードが異常です。
Error: DIMM	拡張エミュレーションモジュールに異常が発生しました。
Error: HDD	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: IEEE1394	拡張1394ボードにエラーが発生しました。
Error:IEEE802.11b Card	IEEE802.11b カードが異常です。
Error:IEEE802.11b Card or Board	IEEE802.11b カードまたはボードが異常です。
Error: NVRAM	メモリースイッチの内容が壊れています。
Error: Optional RAM	SDRAMモジュールにエラーが発生しました。
Error: Parallel I/F	パラレルインターフェースで異常が発生しました。
Error: Waste Toner 1	廃トナーボトル1が正しくセットされていません。
Error: Waste Toner 2	廃トナーボトル2が正しくセットされていません。
Full: Finisher Tray	フィニッシャー排紙トレイが満杯です。
Full: Mailbox Tray 1	4ビンプリントポストの排紙トレイ1が満杯です。
Full: Mailbox Tray 2	4ビンプリントポストの排紙トレイ2が満杯です。

ステータス	意味
Full: Mailbox Tray 3	4ビンプリントポストの排紙トレイ3が満杯です。
Full: Mailbox Tray 4	4ビンプリントポストの排紙トレイ4が満杯です。
Full: Output Trays	すべての排紙トレイが満杯です。
Full: Standard Tray	本体の排紙トレイが満杯です。
Full: Waste Toner	廃トナーボトル1、2が満杯になりました。
Loading Toner	トナーを補給中です。
Low: Black Toner	ブラックトナーが残り少なくなりました。
Low: Cyan Toner	シアントナーが残り少なくなりました。
Low: Magenta Toner	マゼンタトナーが残り少なくなりました。
Low: Staples	500枚フィニッシャーのステープルの針がなくなりました。
Low: Yellow Toner	イエロートナーが残り少なくなりました。
Malfunction: Duplex Unit	両面ユニットに異常が発生しました。
Malfunction: Mailbox	4ビンプリントポストに異常が発生しました。
Malfunction: Output Shift	シフトトレイのモーターに異常が発生しました。
Malfunction: Tray 1	給紙トレイ1に異常が発生しました。
Malfunction: Tray 2	給紙トレイ2に異常が発生しました。
Malfunction: Tray 3	給紙トレイ3に異常が発生しました。
Malfunction: Finisher	500枚フィニッシャーに異常が発生しました。
Malfunction: Stapler	500枚フィニッシャー内に用紙が残っているか、ステープラーが故障しています。
Mismatch: Paper Size and Type	給紙トレイの用紙サイズまたは用紙種類が指定と違っています。

ステータス	意味
Mismatch: Paper Size	給紙トレイの用紙サイズが指定と違っています。
Mismatch: Paper Type	給紙トレイの用紙種類が指定と違っています。
Nearly Full: Waste Toner	廃トナーボトル1、2がもうすぐ満杯です。
No Paper	用紙がありません。
Not Detected: Black Toner	ブラックトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Charger	帯電チャージャーが正しくセットされていません。
Not Detected: Cyan Toner	シアントナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Finisher	フィニッシャーが正しくセットされていません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Magenta Toner	マゼンタトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: PCU	感光体ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: User Selected Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: Waste Toner 1	廃トナーボトル1が正しくセットされていません。
Not Detected: Waste Toner 2	廃トナーボトル2が正しくセットされていません。
Not Detected: Yellow Toner	イエロートナーが正しくセットされていません。
Paper in Duplex Unit	両面印刷ユニットに用紙が残っています。
Paper in Finisher	500枚フィニッシャーに用紙が残っています。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Finisher	500枚フィニッシャーで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	オプションの増設トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal	本体の給紙部で紙づまりが発生しました。

ステータス	意味
Paper Misfeed: Mailbox	4ビンプリントポストで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Output Tray	本体排紙部で紙づまりが発生しました。
Ready	正常です。
Remove seal strip on: Black	トナーカートリッジブラックのテープが引き抜かれていません。
Remove seal strip on: Cyan	トナーカートリッジシアンのテープが引き抜かれていません。
Remove seal strip on: Magenta	トナーカートリッジマゼンタのテープが引き抜かれていません。
Remove seal strip on: Yellow	トナーカートリッジイエローのテープが引き抜かれていません。
Replace Charger	帯電チャージャーの交換時期になりました。
Replace Develop. Unit: Black	現像ユニットブラックの交換時期になりました。
Replace Develop. Unit: Cyan	現像ユニットシアンの交換時期になりました。
Replace Develop. Unit: Magenta	現像ユニットマゼンタの交換時期になりました。
Replace Develop. Unit: Yellow	現像ユニットイエローの交換時期になりました。
Replace Fuser Oil Unit	定着オイルユニットの交換時期になりました。
Replace Fusing Unit	定着ユニットの交換時期になりました。
Replace PCU	感光体ユニットの交換時期になりました。
Warming Up	準備中、またはトナー補給中です。

補足

- ❒ エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、⇒ P.138「テスト印刷メニュー」を参照してください。

プリンター情報

プリンターの給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。⇒使用説明書＜クライアント編＞「UNIXで使う」
- mshell：infoコマンドを使います。⇒ P.180 「プリンターの状態」

補足

❒ 現在選択されている項目には「*」が付いて表示されます。

❒ *1〜*4の項目の詳しい内容については別表を参照してください。

項目名	意味
プリンタシステム	プリンターのバージョン
ネットワークボード	ネットワークボードのバージョン
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名*1 用紙サイズ*2（給紙トレイの紙サイズ設定で指定したサイズが表示されます） 給紙トレイの状態*3
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名*3 排紙トレイの状態*4

項目名	意味
Emulation	
No.	エミュレーション番号
Name	エミュレーション名
Version	エミュレーションのバージョン

❖ 別表

給紙トレイ名*1	意味（Name）
Tray 1	標準トレイ
Tray 2	オプショントレイ（1段目）
Tray 3	オプショントレイ（2段目）
Bypass Tray	手差しトレイ（マルチ）

用紙サイズ*2	意味（Page Size）
A3R	A3縦
A4	A4横
A4R	A4縦
A5	A5横
A5R	A5縦
A6R	A6縦
B4R	B4縦
B5	B5横
B5R	B5縦

用紙サイズ*2	意味（Page Size）
B6R	B6縦
DLR	11×17縦
HLR	$5^1/_2$×$8^1/_2$縦
LGR	Legal（$8^1/_2$×14）縦
LT	Letter（11×$8^1/_2$）横
LTR	Letter（$8^1/_2$×11）縦
FR1	カスタムサイズ（mm単位設定）
NCS	トレイ未セット
PCR	はがき縦
**	用紙サイズ不明

給紙トレイの状態*3	意味（Status）
Normal	通常状態
NoInputTray	トレイなし
PaperEnd	用紙なし

排紙トレイの状態*5	意味（Status）
Normal	正常
PaperExist	用紙あり
OverFlow	用紙が満杯
Error	その他エラー

排紙トレイ名*4	意味（Name）
Standard Tray	本体排紙トレイ
Mailbox Tray1～4	４ビンプリントポスト 上トレイ１～４
Finisher Shift Tray	500枚フィニッシャー排紙トレイ

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得するできる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメーターを使います。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.180 「プリンターの状態」「プリンターの状態」

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）常に「0 bytes」と表示。

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去16件分の記録が表示されます。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのprnlogパラメーターを使います。⇒使用説明書＜クライアント編＞「UNIXで使う」
- mshell：prnlogコマンドを使います。⇒ P.180 「プリンターの状態」「プリンターの状態」

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数
Result	通信結果 • OK 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinterでは発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間
User ID *1	プリンタードライバーで設定されたUser ID
JobName *1	ファイル名

*1 IDを指定してinfoコマンドを入力した場合、表示されます。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードに設定してある内容の情報です。

次の方法で確認できます。

- mshell：show**コマンドを使います。**⇒ P.181 「ネットワークインターフェースボードの情報」

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	**プロトコルの有効**(Up)**、無効**(Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
NetBEUI	
IP over 1394 *1	
SCSI print *1	
Ethernet interface	**内部的なバージョン番号**
Syslog	
priority	
NVRAM version	**内部的なバージョン番号**
Device name	**プリンタ名**
Comment	**コメント**

項目名	意味
Contact	SNMP情報での設置場所
Location	SNMP情報での管理者や連絡先
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Macintosh上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効(Up)、無効(Down)
ftp	
lpr	
rsh	
telnet	
diprint	
web	
ftpc	
snmp	
ipp	
wins	

項目名	意味
EncapType	フレームタイプ
Network boot	ネットワークブート
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X *2]:	アクセスコントロールレンジ
Primary WINS	プライマリWINSサーバアドレス
Secondary WINS	セカンダリWINSサーバアドレス
Time Server	NTPサーバアドレス
Time Zone	NTPサーバとの時間差
Time Server Polling time	NTPサーバとのインターバル間隔
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのURL名
Help page URL	ヘルプページのURL
SNMP protocol	SNMPで使用するプロトコル
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号

項目名	意味
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト
Swich	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	（この値は固定です）
Packet negotiation	
Print job timeout	パケットタイムアウト
NetBEUI	
Switch	
Mode	（この値は固定です）
Direct print	（この値は固定です）
Notification	印刷完了通知
Workgroup name	ワークグループ名
Computer name	コンピュータ名
Comment	コメント
Share name[1]	共有名（プリンターの機種名です）
IP over 1394 *1	
Device name	プリンタ名
Address	IPアドレス

項目名	意味
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
SCSI print	
Bidi	双方向通信設定(on/off).
IEEE 802.11b [*3]	
SSID	現在使用中のSSID
Channel range	使用可能なチャンネル範囲
Channel	現在使用中のチャンネル
Communication mode	無線LANの通信モード
Rate	無線LANの通信速度
Auth	WEP使用時の認証モード設定の有効（valid）、無効（Invalid）
WEP encryption	WEPの有効（On）、無効（Off）
Enctyption key	WEPキー
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

[*1] 拡張1394 ボード（オプション）装着時に表示されます。

[*2] Xには1～5の数字が入ります。

[*3] 拡張無線LANボード装着時に表示されます。

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報は次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのsyslogパラメーターを使います。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」
- mshell：syslogコマンドを使います。⇒ P.181 「システムログ情報」「システムログ情報」

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <**ファイルサーバ名**> denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server on the password was incorrect.	**（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。**<**ファイルサーバ**>**上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。**
add_sess: community <**コミュニティ名**> already defined.	**コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。**
add_sess: session <**コミュニティ名**> not defined.	**認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。**
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<**コミュニティ名**>	**コミュニティのアクセスタイプが**Trap**の場合、**IP**アドレス** 0.0.0.0 **は無効です。**Trap**送信先ホストの**IP**アドレスを指定して下さい。**
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPX**アドレス**>, community:<**コミュニティ名**>	**コミュニティのアクセスタイプが**Trap**の場合、**IPX**アドレス** 00:00:00:00:00:00 **は無効です。**Trap**送信先ホストの**IPX**アドレスを指定して下さい。**

メッセージ	状態、対処方法
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。
add_sess_ipx: session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
ANONYMOUS FTP LOGIN FROM < IPアドレス>, <パスワード>	ホスト< IPアドレス>よりパスワード<パスワード>でanonymousログインされました。
anpd start. (AppleTalk)	anpd(AppleTalk Network Package Daemon)を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバ>	ニアレストサーバとして<ファイルサーバにアタッチしました。>
Attach to print queue <プリントキュー名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。
Cannot find rprinter（<プリントサーバ名>/<プリンタ番号>）（リモートプリンタ起動時）	<プリントサーバ名>上に<プリンタ番号>のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。
Change IP adress from DHCP Server.	本機がDHCPサーバからのIPアドレスのリース更新時に、使用していたIPアドレスが変更されました。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。
child process exec error! （プロセス名）	本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。

メッセージ	状態、対処方法
Connected DHCP Server（<DHCPサーバアドレス>）.	DHCPサーバからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバ名>	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバに接続できません。プリントサーバの設定を確認してください。
Current Interface Speed : < EhternetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です。（10Mbpsまたは100Mbps）。
Current IP address（<現在のIPアドレス>）.	DHCPサーバから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	IPXアドレスが<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPリース切れになりました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスが使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバが見つかりませんでした。ネットワーク上にDHCPサーバが起動していることを確認してください。
dhcpcd start.	dhcpcd（DHCPクライアントサーバ）を起動しました。
Duplicate IP=< IPアドレス>（from < MACアドレス>）.	本機に設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示されたMACアドレスの機器をチェックしてください。
Established SPX Connection with PServer，(RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>)	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバと接続を確立しました。
exiting	lpdのサービスを終了しました。

メッセージ	状態、対処方法
Exit pserver	（プリントサーバ動作時）必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。
Frametype=<フレームタイプ名>	NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。
httpd start.	httpdが起動しました。
IEEE 802.11b <通信モード> mode	IEEE 802.11bの通信モードです。 例）：IEEE 802.11b infrastructure mode　：インフラストラクチャーモード時 IEEE 802.11b ad hoc mode　：アドホックモード時
IEEE 802.11b current channel <チャンネル番号>	現在動作中のチャンネルが表示されます。アドホックモードの場合はユーザーが選択した番号が表示されます。インフラストラクチャーモードの場合は接続したアクセスポイントの使用チャンネルが表示されます。例）：IEEE 802.11b current channel 11
IEEE 802.11b MAC Address = <MACアドレス>	IEEE 802.11b I/F のMAC アドレスが表示されます。例）：IEEE 802.11b MAC Address = 00:00:74:XX:XX:XX
IEEE 802.11b SSID <ssid> (AP MAC Address <MACアドレス>)	インフラストラクチャーモードの場合に接続したアクセスポイントのSSIDおよびアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。例）：IEEE 802.11b SSID test-ssid (AP MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx)
IEEE 802.11b Tx Rate <送信速度>	IEEE 802.11b 送信速度(設定値)が表示されます。例）：IEEE 802.11b Tx Rate 11Mbps
inetd start.	inetdを開始します。
<Interface> started with IP: <IPアドレス>	<Interface>に<IPアドレス>が設定されて、動作を開始しました。

メッセージ	状態、対処方法
<Interface>: Subnet overlap.	<Interface>に設定しようとしたサブネット範囲が、ほかのインターフェースのサブネット範囲と重なっています。各インターフェースのサブネット範囲が重ならないように設定してください。
IPP cancel-job: permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。
ipp disable.	IPP機能は利用できません。
ipp enable.	IPP機能が利用可能です。
IPP job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).	DHCPサーバから取得したIPアドレスのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒で表示されます。
Login to fileserver <ファイルサーバ名>（< IPX|IP>,< NDS|BINDERY>）	（プリントサーバ動作時）本機が<ファイルサーバ>にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。
multid start.	マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。
nbstart start. (NetBEUI)	NetBEUIプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)	< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング（NetBIOS名の解決）をローカルブロードキャストで行います。
nbtd start.	nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon)を起動しました。（本サービスはDHCPモード時のみ起動されます。）
NetBEUI Computer Name=<コンピュータ名>	NetBEUIのコンピュータ名を決定しました。
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd(NaMe Server Daemon)を起動しました。

メッセージ	状態、対処方法
npriter start. (NetWare)	（リモートプリンタ動作時）NetWareサービスをリモートプリンタモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
Open log file <ファイル名>	（プリントサーバ動作時）監視ログファイルをオープンしました。
papd start. (AppleTalk)	papd(Printer Access Protocol Daemon)を起動しました。
permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名やホストアドレスによるチェックで権限なしと判定された場合（ROOT権限を除く）に表示されます。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。
Print queue <プリントキュー名> cannot be serviced by printer 0, <プリントサーバ名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。
Print server <プリントサーバ名> has no printer	（プリントサーバ動作時）<プリントサーバ名>にプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
print session full	印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。
Printer <プリンタ名> has no queue	（プリントサーバ動作時）<プリンタ名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。
pserver start. (NetWare)	（プリントサーバ動作時）NetWareサービスをプリントサーバモードで起動しました。

メッセージ	状態、対処方法
Required computer name（<コンピュータ名>）is duplicate name	ネットワーク上に同じ（<コンピュータ名>）のプリンター名を検出しました。起動処理は、（<コンピュータ名>）にサフィックス（0、1・・・）を追加して（<コンピュータ名>）を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。
Required file server（<ファイルサーバ名>）not found	<ファイルサーバ名>で設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。
restarted.	lpdのサービスを開始しました。
sap enable, saptype=< SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能が起動されました。SAP（SAPタイプ、SAP名）パケットを発行し、NetWareサーバ上のSAPテーブルにサービスの存在を登録します。
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。
smbd start. (NetBEUI)	smbd(Sever Message Block Daemon)が起動しました。
Snmp over ip is ready.	tcp/ip上での通信が可能です。
Snmp over IP over 1394 is ready.	IP over 1394上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
snmpd start.	Snmpdを開始しました。
started.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。

メッセージ	状態、対処方法
win2kspd protocol-DOWN (APPEXIT).	IEEE 1394 SCSI printの設定がムコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷ができなくなりました。
win2kspd protocol-UP (APPENTRY).	IEEE 1394 SCSI printの設定がユウコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷が可能となりました。
win2kspd started.	SCSI print(SBP-2)サービスを開始します。
WINS name refresh :Server No Response	WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration/refresh error code (エラー番号)	重複しないNetBIOS名を設定して下さい。または、WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration:Server No Response	登録処理に対する応答がサーバからありません。WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS server address0.0.0.0	WINSサーバアドレスの指定がされていません。WINSによる名前解決を行う場合はWINSサーバアドレスを設定して下さい。
WINS Server=<WINS サーバアドレス> NetBIOS Name=<NetBIOS名>	<WINSサーバアドレス>への名前の登録が正常に終了しました。
WINS wrong scopeID	不正なスコープＩＤが使用されています。正常なスコープＩＤを設定して下さい。
write error occurred.(diskfull)	スプールファイル書き込み中にHDDの空き容量がなくなりました。印刷処理が進み、HDDの空き容量が増えるのをお待ちください。
write error occurred.(fatal)	スプールファイル書き込み中に致命的なエラーが発生しました。電源再投入後復帰しなければサービ実施店に連絡してください。

使用上の注意

イーサネットを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合

リコー製のネットワークユーティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によってはISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。 装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上に NetWare のファイルサーバーが存在している場合、プリンターから送出されるパケットにより ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これはNetWareの仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDN ルータでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

補足

- ❒ フィルタリングするプリンターの MAC アドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。システム設定リストについては、⇒P.138 「テスト印刷メニュー」を参照してください。
- ❒ ルータの設定を変更できない場合は、次に示すプリンターの設定による方法で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用する場合）

1 本書のセットアップ方法に従い、必ずファイルサーバーを指定します。

補足

- ❒ Ridoc IO Adminでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare]タブの［ファイルサーバ名］ボックスにファイルサーバー名を入力します。

2 NetWareの使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。

参照

使用するフレームタイプを選択する方法については、P.76「プロトコルの準備をする」を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用しない場合）

1 イーサネットボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択でNetWareを無効にします。

参照

プロトコルを無効にする方法については、かんたんセットアップ「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

Windows から PostScript 印刷する場合

WindowsからPostScript印刷するときは、PostScript 3モジュールに付属のPostScript 3使用説明書を参照し、プリンタードライバーでイーサネットボードを使用する設定にしてください。

NetWare 環境で印刷する場合

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用している OS に応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで、［フォームフィード］のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで、［バナーの使用］のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30〜40秒後にいったんプリントサーバーから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これはNetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

DHCP を使用する場合

プリンターを DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録することができます。

制限

- ❒ IEEE 1394（IP over 1394）はDHCPに対応していません。プリンターの操作パネル、telnetまたはWebブラウザから固定IPアドレスを設定してください。

補足

- ❒ 動作対象のDHCPサーバーは、Windows 2000 Server日本語版、Windows NT 4.0日本語版、NetWare 5/5.1J、Solaris 7/8、RedHat Linuxです。
- ❒ プリンターが DHCP から取得した IP アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、かんたんセットアップを参照してください。
- ❒ WINSサーバーを使用する場合は、プリンターの設定項目でWINSサーバーを［有効］に設定してください。
- ❒ WINSサーバーを使用することで、常に同じ名称が使用できます。
- ❒ WINSサーバーを使用しない場合は、毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、プリンターに割り当てるIPアドレスをDHCPサーバーで予約してください。
- ❒ 複数の DHCP サーバが存在する場合は、すべての DHCP サーバに同じ予約をしてください。プリンターは最初に応答した DHCP サーバからの情報で動作します。
- ❒ ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCPリレーエージェントを使用した場合、プリンターからパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

AutoNet 機能を使用する

DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられなかった場合、プリンターが臨時に169.254.xxx.xxxではじまるネットワーク上で使用されていないIPアドレスを自動選択して使用することができます。

補足

- ❒ AutoNet機能で自動選択されたIPアドレスは、DHCPサーバーがIPアドレスの割り当てを再開すると、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスを優先的に使用します。このとき、プリンターが再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- ❒ AutoNetモードで動作中の場合、WINSサーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- ❒ AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。

WINS サーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名をWINS（Windows Internet N69ame Sarvice）サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP環境で使用している場合、Ridoc IO Naviのポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

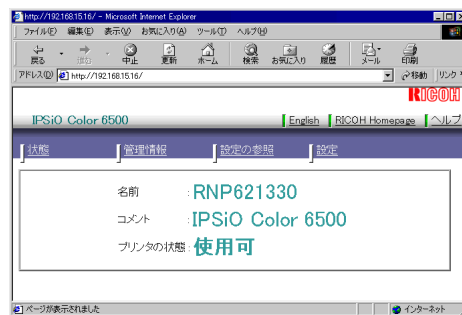
ここでは、プリンターがWINSサーバーを使用できるようにする設定について説明します。

補足

- ❒ サポートするWINSサーバーは、Windows NT 4.0 Server Service Pack 4以降またはWindows 2000 ServerのWINSマネージャーです。
- ❒ WINSサーバーの設定については、Windowsのヘルプを参照してください。
- ❒ WINSサーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。
- ❒ 登録できるプリンター名は、半角英数字で13バイト以内です。

Web ブラウザを使用する方法

1. Webブラウザを起動します。
2. アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）」と入力します。

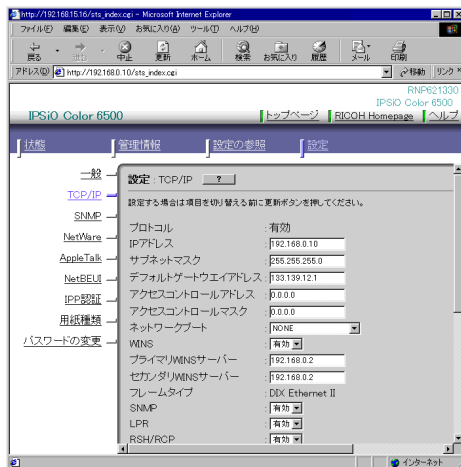
   Web ブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

3. ［設定］をクリックします。

   パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

工場出荷時の設定のままの場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。

5 [TCP/IP] をクリックします。

6 [WINS] が「有効」になっていることを確認し、[プライマリ WINS サーバー] と [セカンダリWINSサーバー] にそれぞれWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

7 [更新] をクリックします。

設定が送信されます。

8 Webブラウザを終了します。

mshell を使用する方法

1 telnetを使用し、プリンターに接続します。

2 以下のコマンドを使用し、WINSを使用する設定にします。

```
set wins on
```

3 以下のコマンドを使用し、プライマリWINSサーバーとセカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

```
wins primary IPaddress
wins secondary IPaddress
```

補足

- 現在の設定を確認するには、winsとコマンドを使用します。

参照

mshellの詳細は、P.176「telnetによるリモートメンテナンス（mshell）」を参照してください。

4 telnetを終了します。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、転送が終わってから印刷する機能です。プリンターの性能を最大限に利用するので、印刷時間が短縮されます。

スプール印刷の設定は、操作パネルの「システム設定メニュー」から行います。詳しくは、P.152 「システム設定メニュー」を参照してください。

重要

- ❒ スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ，データインランプが点滅します。スプール印刷中にプリンターやパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。また、スプール印刷中にプリンターやパソコンの電源を切るとスプールジョブがプリンター内に残り、繰り返し印刷されます。スプール印刷中はプリンターやパソコンの電源を切らないでください。

制限

- ❒ スプール印刷するには、オプションの拡張HDDを装着する必要があります。拡張HDDが装着されていないと、パネルの「システム設定メニュー」にスプール印刷は表示されません。
- ❒ 「LPD」「IPP」以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。
- ❒ 一度に最高50ジョブ（約500MB）までスプールできます。

補足

- ❒ スプール印刷をすると、１ページ目の印刷開始は遅くなります。
- ❒ スプール印刷をすると、大容量のデータの時、パソコンが早く印刷処理から開放されます。
- ❒ プリンターに蓄積されたスプールジョブはWebブラウザから閲覧・削除することができます。

❖ スプール印刷を設定する

Webブラウザとtelnetで設定できます。

- Webブラウザの場合
  [一般]の[スプール印刷]を[有効]にします。詳しくは、P.113 「Webブラウザを使う」を参照してください。
- telnetの場合
  「spoolsw spool on」で設定します。詳しくは、P.187 「スプール設定」を参照してください。

❖ Webブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

① Webブラウザを起動し、URLとしてプリンターのIPアドレスを指定します。
トップページが表示されます。

② [管理情報] をクリックすると、スプールジョブが表示されます。

③ 削除するには削除したいファイル名の [削除] にチェックをしてパスワードを入力し、[削除] ボタンをクリックします。

補足

❒ 工場出荷時の設定パスワードは「ricoh」です。

参照

詳しくは、同梱のCD-ROMに収納されているヘルプファイルを参照してください。

Ridoc IO Navi で IPP を使用する場合

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合は、以下の点に注意して使用してください。

- ネットワークプリンターが受け付けるRidoc IO Naviからの印刷ジョブは、1件のみです。ネットワークプリンターが印刷中のとき、他のユーザーがRidoc IO Naviを使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーのRidoc IO Naviは、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Naviがネットワークプリンターに接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、ネットワークプリンターに接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、ネットワークプリンターが印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Naviからの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなってネットワークプリンターにより印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要 があります。
- 他のコンピュータから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーがRidoc IO Naviを使用して印刷しようとした場合、ネットワークプリンターに接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Ridoc IO NaviがポートとしてIPアドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。

メモリー容量と用紙サイズ

<table>
<tr><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">用紙
サイズ</th><th colspan="2">片面</th><th colspan="2">両面</th></tr>
<tr><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th></tr>
<tr><td rowspan="7">600×600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="7">標準64MB</td><td rowspan="2">128MB
（64MB増設）</td><td rowspan="7">標準64MB</td><td rowspan="2">192MB
（128MB増設）</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="5">標準64MB</td><td rowspan="5">128MB
（64MB増設）</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td>B6</td></tr>
<tr><td>A6</td></tr>
<tr><td rowspan="7">1800×600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="7">標準64MB</td><td rowspan="2">192MB
（128MB増設）</td><td rowspan="2">128MB
（64MB増設）</td><td>384MB
（128+256MB） *3</td></tr>
<tr><td>B4</td><td rowspan="2">320MB
（256MB増設）</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="2">128MB
（64MB増設）</td><td rowspan="5">標準64MB</td></tr>
<tr><td>B5</td><td>192MB
（128MB増設）</td></tr>
<tr><td>A5</td><td rowspan="3">標準64MB</td><td rowspan="3">128MB
（64MB増設）</td></tr>
<tr><td>B6</td></tr>
<tr><td>A6</td></tr>
</table>

*1 ほとんどのデータで印刷可能ですが、データの種類によっては印刷できない場合や、両面連続印刷時の印刷速度が低下する場合があります。

*2 すべてのデータで印刷可能です。

*3 384MBで印刷する場合は、標準搭載の64MBのメモリーを128MBのメモリーに交換する必要があります。

重要

- ❒ はがきサイズの両面印刷はできません。
- ❒ 手差しトレイ（マルチ）から印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。

参照

メモリーの増設方法については、使用説明書＜オプション設置編＞「オプションを取り付ける」を参照してください。

関連商品一覧

外部オプション

- ❖ **500枚増設トレイユニット タイプ6000（商品コード：307845）**
  500枚の用紙をセットできるオプションの増設トレイです。最大で2段取り付けることができます。2段取り付けた場合、給紙トレイ（標準）（250枚）、手差しトレイ（IPSiO Color 6500に標準装備）（100枚）とあわせて最大1,350枚の用紙を同時にセットしておくことができます。

- ❖ **500枚フィニッシャー　タイプ6000（商品コード：307846）**
  500枚の用紙を排紙できるオプションです。シフト機能、ステープル機能があります。標準の本体排紙トレイ（500枚）とあわせて最大1,000枚の排紙が可能になります。

- ❖ **4ビンプリントポスト タイプ6000（商品コード：307847）**
  500枚（125枚×4ビン）の用紙を排紙できるオプションです。個人あるいは部単位で排紙先を指定することが可能になり、印刷ジョブの混在を防ぐことができます。標準の本体排紙トレイ（500枚）とあわせて最大1,000枚の排紙が可能になります。

- ❖ **両面印刷ユニット タイプ6000（商品コード：307848）**
  自動両面印刷が可能になります。

- ❖ **手差しトレイ タイプ6000（商品コード：307849）**
  100枚の用紙をセットできるトレイです（IPSiO Color 6500に標準装備）。装着した場合、給紙トレイ（標準）（250枚）とあわせて350枚の用紙を同時にセットしておくことができます。

- ❖ **分岐ユニット タイプ6000（商品コード：307850）**
  500枚フィニッシャー、4ビンプリントポスト、両面印刷ユニットを取り付ける前に、必ず取り付けるユニットです。

- ❖ **専用テーブル タイプC（商品コード：307851）**
  本機を床に置いて使用する場合に取り付けます。取り付けに関しては販売店にご相談ください。

SDRAM モジュール

本機には標準で64MBのメモリーが装備されています。SDRAMモジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。詳細は、P.226 「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

❖ SDRAMモジュールIII64MB（商品コード：307866）
標準64MBと組み合わせると、128MBのメモリー容量になります。

❖ SDRAMモジュールIII128MB（商品コード：307867）
標準64MBと組み合わせると、192MBのメモリー容量になります。
256MBと組み合わせることで、最大384MBのメモリー容量が可能になります。

❖ SDRAMモジュールIII256MB（商品コード：307868）
標準64MBと組み合わせると、320MBのメモリー容量になります。
128MBと組み合わせることで、最大384MBのメモリー容量が可能になります。

拡張エミュレーションモジュール

❖ PS3モジュール タイプC（商品コード：307812）
本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にもMacintosh、UNIXから印刷できるようにします。

❖ RPGL/2モジュール タイプC（商品コード：307813）
RP-GLはHP-GLをエミュレートして印刷を行なうモード、RP-GL/2は、HP-GL/2、HPRTLをエミュレートして印刷を行なうモードです。

❖ **マルチモジュール タイプC（商品コード：307814）**
「PS3モジュール タイプC」と「RPGL/2モジュール タイプC」を合わせたマルチエミュレーションモジュールです。

❖ **エミュレーションモジュール タイプC（商品コード：307855）**
合計5種類のエミュレーション（「RPDL」、「R16」、「R98」、「R55」、「RTIFF」）を使用することができます。

補足

❒ エミュレーションモジュール タイプCを取り付けている場合、オプショングラフィックスモードを使用するためにRP-GL/2モジュール タイプCを購入する必要はありません。

拡張ボード

❖ **アカウント拡張モジュールタイプC（商品コード：307816）**
統計情報として、ユーザーコード、印刷枚数合計、カラー印刷枚数合計、白黒印刷枚数合計などのデータを蓄積するモジュールです。

❖ **拡張1394ボード タイプC（商品コード：317271）**
IEEE 1394インターフェースを拡張するボードです。Windows Me、Windows 2000、Windows XPで使用できます。

❖ **拡張無線LANボード タイプA（商品コード：509217）**
IEEE 802.11bインターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷することができます。
認証番号 [*1] ：D99-1179JP

[*1] （財）電気通信端末機器審査協会による認証番号です。

拡張 HDD

❖ **拡張HDD タイプD（商品コード：307863）**
フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。

インターフェースケーブル

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ1B（商品コード：307273）**
NEC PC-9800シリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ4B（商品コード：307274）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機 、PC98-NXシリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LBインターフェースケーブル　タイプ4S（商品コード：307470）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC-98NXシリーズ　双方向通信対応　1.5m

仕様

本体

項目	内容
現像方式	レーザービーム走査＋乾式1成分電子写真方式
レーザ規格 *1	クラス1
ファーストプリント	❖ IPSiO Color 6500 7.5秒以下（モノクロ：A4印刷時） 18秒以下（カラー：A4印刷時） ❖ IPSiO Color 6000 7.5秒以下（モノクロ：A4印刷時） 21秒以下（カラー：A4印刷時）
連続プリント速度	❖ IPSiO Color 6500 • モノクロ：A4印刷時 36ページ/分（600×600 dpi） 36ページ/分（1,800×600 dpi） • カラー：A4印刷時 10ページ/分（600×600 dpi） 10ページ/分（1,800×600 dpi） ❖ IPSiO Color 6000 • モノクロ：A4印刷時 32ページ/分（600×600 dpi） 32ページ/分（1,800×600 dpi） • カラー：A4印刷時 8ページ/分（600×600 dpi） 8ページ/分（1,800×600 dpi）

項目	内容
解像度	1,800×600dpi（モノクロ/カラー） 600×600dpi（モノクロ/カラー）
用紙サイズ	• 給紙トレイ（標準） A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、B6、A6、11×17、Legal（$8^1/_2$×14）、Letter（$8^1/_2$×11）、Letter（$8^1/_2$×11）、Half Letter($5^1/_2$×$8^1/_2$)、Half Letter($5^1/_2$×$8^1/_2$)、不定形サイズ（長さ148～432mm、幅100～297mm） • 手差しトレイ（IPSiO Color 6500に標準装備） 定型サイズ：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、B6、A6、11×17、Legal（$8^1/_2$×14）、Letter（$8^1/_2$×11）、Letter（$8^1/_2$×11）、Half Letter 不定形サイズ（フリー）：縦148～457mm、横90～305mm
用紙種類	普通紙（リコピー PPC用紙 タイプ6000<58W>、<70W>、<90W>、タイプ6200） 再生紙（マイリサイクルペーパー 100、100W、タイプFC） カラー紙（リコピー PPC用紙 タイプCP、CB、CY、CG） 第二原図用紙（リコピー PPC用紙 タイプTA） OHPフィルム（リコー OHPフィルム TYPE PPC-FC） ハクリ紙（リコー PPC用紙 タイプSA） 官製はがき
給紙量	• 給紙トレイ（標準） 普通紙、再生紙、カラー紙：250枚 OHPフィルム：20枚 官製はがき：50枚 • 手差しトレイ（IPSiO Color 6500に標準装備） 普通紙、再生紙、カラー紙：100枚 OHPフィルム：50枚 官製はがき：30枚
最大給紙量	1,350枚（IPSiO Color 6500で500枚増設トレイユニット2段装着時）

項目	内容
排紙量	本体排紙トレイ：500枚 500枚フィニッシャー：500枚 ４ビンプリントポスト：500枚（125枚×４ビン） （リコピー PPC用紙 タイプ6200使用時）
最大排紙量	1000枚（500枚フィニッシャー、または4ビンプリントポスト装着時 （リコピー PPC用紙 タイプ6200使用時）
排紙方法	裏面排紙
電源	100V 12A（フルシステム時）50/60Hz
消費電力	最大消費電力：1200W
ウォーミングアップ時間	99秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法（幅×奥×高）	❖ IPSiO Color 6500 636×670×470mm ❖ IPSiO Color 6000 540×670×470mm
質量	59Kg以下（給紙トレイ、消耗品を含む）
騒音	本体動作時 67dB以下 待機時 40dB以下
CPU	RM5261 250MHz

項目	内容
メモリー	標準:64MB 最大:384MB
インターフェース	IEEE 1284準拠 双方向パラレル 100BASE/10BASE イーサネット USB 2.0（480Mbps [*2] /12Mbps） IEEE 1394（オプション） IEEE 802.11b（オプション）
ページ記述言語	RPCS PS3（Adobe PostScript3）（オプション）
エミュレーション（オプション）	RPDL、RP-GL（HP-GL）、RP-GL/2（HP-GL/2、HPRTL）、R16、R98、R55、RTIFF
搭載フォント	アウトラインフォント 明朝L、明朝Lプロポーショナル、ゴシックB、ゴシックBプロポーショナル、Courier10、Preatige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier ４書体、Arial ４書体、TimesNewRoman ４書体、Wingdings、Century

[*1] 本製品は、JIS C 6802（IEC 60825-1）「レーザ製品の安全基準」に基づき、“クラス１レーザ製品”に該当します。

[*2] USB 2.0に対応したパソコンと、USB 2.0に対応したケーブルが必要です。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠

※無線LANご使用の場合

本無線製品は2.4GHz帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

拡張 1394 ボード（オプション）の仕様

対応OS	SCSIプリント使用時	Windows 2000、Windows XP
	IP over 1394使用時	Windows Me、Windows 2000、Windows XP
インターフェース		IEEE Std 1394-1995準拠、IEEE Std 1394a-2000準拠
ポート		IEEE 1394ポート（6ピン×2）
転送速度		最大400メガビット/秒
同一バス内の接続可能な機器の数		最大63
同一バス内のケーブルポップ数		最大16
ケーブルの長さ		最大4.5m（1ポップあたり）
電源供給		電源供給なし
電源リピート機能		あり（IEEE Std 1394a-2000準拠）

拡張無線 LAN ボード（オプション）の仕様

インターフェース	IEEE 802.11 b 準拠、Wi-Fi準拠	
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式単信（半二重）	
データ転送速度	1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps	
周波数範囲	2400～2497MH z （この帯域を1～14のチャンネルで分割して使用する）	
伝送距離 [*1]	1Mbpsのとき	400m
	2Mbpsのとき	270m
	5.5Mbpsのとき	200m
	11Mbpsのとき	140m

[*1] 伝送距離は周囲の条件により誤差が出ることがあります。

拡張無線LANボード（オプション）は、付属の無線LANカード以外での動作は保証しません。

拡張 USB2.0 ボード（オプション）の仕様

対応OS [*1]	Windows 98SE/Me、Windows 2000、Windows XP、MacOS 9.x、MacOS X
通信方式	USB1.1およびUSB2.0規格に対応
通信速度	High Speed 480Mbps、Full Speed 12Mbps、Low Speed 1.5Mbps
接続方式	USB1.1およびUSB2.0規格に対応したデバイス

[*1] Windows 98SE/Meの場合、「Microsoft USBプリンタポート」をインストールしてください。Windows 98SE/Me でのサポート速度はUSB1.1相当です。Macintoshでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。

拡張USB2.0ボード（オプション）の動作について、インターネットのリコーホームページでご案内し ています。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

専用テーブル タイプ C

項目	内容
外形寸法（幅×奥×高さ）	644×793×202mm
質量	14kg以下

500 枚増設トレイユニット タイプ 6000

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、11×17、Legal（$8^{1}/_{2}$×14）、Letter（$8^{1}/_{2}$×11）、Letter（$8^{1}/_{2}$×11）、Half Letter($5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$)
給紙量	500枚（80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	540×600×120mm
質量	15kg以下
最大消費電力	50W以下

500 枚フィニッシャー タイプ 6000

項目	内容
収容できるサイズ	• 500枚収容 A4、B5、A5、Letter、Half Letter • 250枚収容 A3、B4、11×17、Legal
収容可能枚数	500枚（80g/㎡紙使用時）
ステープル可能枚数	30枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	360×506×328mm
質量	8.5kg以下
最大消費電力	40W以下

4ビンプリントポスト タイプ6000

項目	内容
収容できる用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter、Half Letter
収容可能枚数	500枚（1排紙ビン当たり125枚、80g/m²紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	440×520×370mm
質量	7Kg以下
平均消費電力	17W以下

両面印刷ユニット タイプ6000

項目	内容
両面印刷できるサイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal、Letter、Half Letter
外形寸法（幅×奥×高さ）	121×479×504mm
質量	6kg以下

手差しトレイ タイプ6000

IPSiO Color 6500には標準装備されています。

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	**定型サイズ：**A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、B6、A6、11×17、Legal（$8^{1}/_{2}$×14）、Letter（$8^{1}/_{2}$×11）、Letter（$8^{1}/_{2}$×11）、Half Letter **不定形サイズ（フリー）：**縦148〜457mm、横90〜305mm
給紙量	100枚（80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	310×380×275mm
質量	3kg以下

分岐ユニット タイプ6000

項目	内容
外形寸法（幅×奥×高さ）	160×506×120mm
質量	3kg以下

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat（Version 1.1）について

expat(Version 1.1). Copyright © 1998, 1999 James Clark. All rights reserved.

- 本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェアといいます）にはexpat Version 1.1（以下 expat1.1）を使用しています。
- ソフトウェアに利用されている expat1.1 のソースコードに対し、株式会社リコーは改変を行っておりません。なお、expat1.1のソースコードは、次のURLが示すFTPサイトより入手が可能です。
  ftp://ftp.jclark.com/pub/xml/expat1_1.zip
- expat1.1はMPL1.1に従って公開されています。なお、MPL1.1の条件は、次のURLが示すWWWサイトより入手が可能です。
  http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html
- ソフトウェアはMPL1.1に定義されるLarger Workに相当します。ソフトウェアの利用に関し、MPL1.1と異なる使用許諾条件が定められている場合、当該規定はソフトウェアより expat1.1 を除いた部分に対して適用されます。
- ソフトウェアの使用に関して、お客様に使用料等をご負担いただく場合、当該使用料等はソフトウェアより expat1.1 を除いた部分に対して課せられています。
- expat1.1 を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat1.1の開発者であるJames Clark氏には一切の責任及び義務はありません。
- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。
  http://www.jclark.com/xml/expat.html

NetBSD について

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

JPEG LIBRARY

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービス、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

2002年4月　G070-8508A